

分野 6

経済・産業

令和5年度行政評価 有識者による外部評価

担当課	テ政評価 有識者に 事務事業名	事業概要	現状に対する認識と今後の方向性	評価者	外部評価コメント
商工課	こだわりのある商店 街づくり事業	商店街で実施する個性ある集客イベントや共同で行う販売促進活動への支援 を通して、多くの市民や観光客が訪れる魅力ある商店街づくりを図る。	松本市商業ビジョンの中間見直しと合わせ、売上向上や効率化のため、真に商店街が必要としている補助を把握し、令和6年度に補助制度の見直しを実施予定。DXやゼロカーボン等に向けた取組みについては、補助率や上限額を優遇することを検討する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価令和3年度コロナ禍で中止となった事業が再開し、活動指標は復調傾向にあるため、商店街等においては必要な事業である(需要がある)ことは示されていますが、本事業が目的達成(=多くの市民や観光客が訪れる→売上等増加)に効果があるのかは指標含めて判断がしづらい状況です。 2) 指標の設定 [成果の指標] は、上述のとおり来客数ですので、例えば各イベントの目標数に対する来客数(達成率)などを設定する必要があります。また、「thinklocal, buylocal, buylocal, 運動協賛会員数は、本事業を実施して増やす/事業を実施して増えるのであれば、因果関係的(時間軸的)に成果指標になるかもしれませんが、「対象指標」あるいは、「中小企業振興事業」の商業分野における一指標とする方が妥当であると考えます。 3) 今後の方向性令和6年度の見直しは「こだわり/個性」を際立たせること、長野県の元気づくり支援金等との違いが分かるようにお願いします。例えば、内部評価に記載のある「ゼロカーボン」を発展させ、「エシカル」消費などのテーマを決めることも一案です。さらに、大規模小売店との差違として、インパウンドをターゲットにするなど絞り混むことで松本市の商店街の特徴づくり・ブランディングを政策的に進めることも可能になります。
商工課	中小企業振興事業	松本市商業ビジョン(R元~R10年度)及び松本市経営発達支援計画(R2~R6年度)に基づき、中小企業並びに小規模事業者に対し、経営指導、持続化支援等を実施するもの。令和5年度の商業ビジョン見直しに合わせ、活動指標及び成果指標の見直しを予定	中小企業に対する基礎的な支援を継続するととも に、経済環境の変化を捉え、臨時の支援策等を行 う。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 商業ビジョン、経営発達支援計画に基づく事業であるため昨年度の継続事業だと思いますが、臨時の対応策としては、コロナ等の危機対応だけでなく、ビジョン基本方針1「挑戦する商業者を支援」の視点を同程度に重視し、新規事業創出等に積極的に取り組んで頂きたいと思います。 2) 指標の設定 昨年度も記載しておりますが、事業の趣旨・目的に対応すれば、「活動指標」である計画策定に対して、企業側の満足度や新規事業創出数、雇用増加、売上改善などを「成果指標」(アウトカム)に設定することが必要と考えます。 3) 今後の方向性 事業内容が全体的に「マイナスをゼロリセット」することに力点が置かれています。それも必要ですが、むしろ「ゼロからプラス」を創出する事業に力点を置き換えることを検討ください(※昨年度も指摘済)。特に世界から出遅れている「キャッシュレス」や「オンライン対応」、事業の効率化等におけるAIやRPA導入支援、デジタル空間活用など重点的に取り組むことを検討ください。(ビジョンにはそれら項目も記載されていますので)
商工課	商業振興事業	度)に基づき、中心市街地の活性化並 びに松本市全体の商業振興を図るも	令和5年度中に「商業ビジョン」の中間見直しを実施予定。パルコ閉店で危惧される広域集客力の低下、コロナ禍で顕著になった地区商店街の衰退といった新たな課題に対応するため、従前から注力していた個店の強化に加え、事業承継や移住創業者への支援拡充といった新たな商業の担い手を生み出す事業展開を検討する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 空き店舗や空き地調査、通行量調査など実態把握は必要ですが、調査報告書には、減少等の 要因の深掘り、対策に向けた提案等が十分に見られません。例えば調査結果を商工会議所や 青年会議所とデータを共有しながら活用策検討するフィールドワークやワークショップを開催し、そこから「こだわりのある商店街事業」や「空き店舗活用事業」に繋げる、エリアマネジメント戦略を構築するなど事業連携によるシナジー創出を検討ください。 2) 指標の設定 本事業の設定 本事業の設定 本事業の設定 大事書として妥当性や説明力がやや不足します(アウトプットや初期アウトカムに留まる)。例えば、新規出店数の増加やイベント等の波及効果など事業のロジックモデルを改めて検討ください。 3) 今後の方向性 個店の強化、事業継承や移住創業者支援は、「ヒイキ」や「偏り」を持った事業に取り組む等をしてください。例えば、新規創業店のみを紹介するサイトを市などが率先して創る、JR等が新たに取り組むエキトマチケットなど移動と消費の連続性を高めるため個別事業者との連携強化をするなどです。エッジがない事業では大型店との区別、他地域との区別はできません。悪平等にならない思い切った事業(支援)展開を方針としてください。

商工課	創業者支援事業	意欲ある創業者が円滑に創業し、自立 することができるように必要な補助を するとともに、伴走型の支援を行うも の	松本商工会議所及び松本市波田商工会、サザンガク 内の県「信州スタートアップステーション」、実績 ある経営経験者による「商業アドバイザー事業」と の連携を強化し、創業者及び創業希望者に対する伴 走型支援の強化を図る。また、今年度の商業ビジョ ン見直しに合わせて補助金内容の見直し、より効果 的な創業者支援と創業に対する気運向上を図る。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 資金支援は創業意思やアクションが明確になった段階への支援以外にその手前となる「アントレプレナー育成」にも投資した取り組みをお願いします。特に松本市は、県内他市よりも高校生や大学生が集まっていることをアドバンテージとして価値を認識することが重要と考えます。 2) 指標の設定 5年後の事業継続率は成果指標として良い指標の一つですが、事業の成長率(雇用者数、店舗や事業所拡大数、売上伸び率)なども追加指標として検討ください。 3) 今後の方向性 内部評価にある「各種支援事業との連携による伴走強化」は昨年度事業評価での提案事項であり、検討頂いたことは高く評価をいたしますが、創業支援等はタイミングが重要なため、時間を置かず、即プロトタイプ等に取り組むようにしていただけると幸いです。
DX推進本	部 地元企業デジタル化 推進事業	世界経済のデジタル化に地元企業が適応するために、「市への支払請求の電子化」「オンライン会議」「テレワーク」などの初期段階のデジタル化策の導入支援を通じて、地元企業がデジタル化に継続的に取組む「気づき」の機会を提供するもの	デジタル化に対する取組意識のない企業へのアウト リーチを重視した取り組みに移行する。デジタル化 に着手した企業に対し、継続した伴走支援を行う。 成功事例の横展開を行う。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 初期段階のデジタル化支援は、松本市内にどの程度該当企業があるのかを実態把握した上での事業になっているでしょうか。また、現在、商工会議所でもDxに関するアンケートを実施していますが (※着手時期が遅いことも気になりますが・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
商工課	工業振興事業	市内中小製造業者の活性化に向け、ビジネスタイアップ商談会・中小企業総合展への出展、工業団地分譲地購入などに必要な負担金及び補助金を交付をするもの	コロナ禍で中止していた展示会やイベントが開催され始めた。自社製品・技術を対面でPRする場は、中小企業者の販路拡大に効果があるため、支援を継続したい。 ECサイト作成等オンラインを活用した事業に対する補助を継続的に実施する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 一年経過していますが、昨年度の評価も再確認いただき、DxやGxを中心に"ビヨンドコロナ"に対応した内容への転換・アップデートの検討をお願いします(一部、3)今後の方向性にも後述)。 2) 指標の設定マッチング、用地確保や工場整備の支援は、インプット(≒活動指標)の一例として問題ありませんが、アウトプット・アウトカムを設定してください。例えば、上記の狭義な範囲であれば、ものづくりフェアなどに出展した企業にフォローアップ調査を実施し、ブース来場者数の増加、事後相談の数、実際のマッチング成立(仕事の契約)については可能なはずです(出展支援の義務として回答を求める)。もちろん、広義に見るならば最終アウトカムは、売上増や地域の生産性向上も指標になりますが、適宜検討ください。3)今後の方向性展示会等の出展支援は否定しませんが、従来のような平等な支援を廃止し、エッジのある支援をご検討ください。例えば、出展企業を「一般支援」と「アドバンスト支援」に分け、後者を市としてのフラグシップ/推し企業として重点支援するなどです。動画を活用したプロモーションムービーを作成する、AR、VRを活用したデモ空間も用意する、AI活用などによる顧客対応と分析の導入など支援をするなど・・・。やる気のある、優れた取組をするトップピークを伸ばす支援があった上で、フォローという優先順位で事業を設計することを推奨します。

商工課	地場産業振興事業	物産展等の開催や出展等による地場産 品の販路拡大や新商品開発等による新 たな需要の喚起、伝統産業の技術を継 承できる後継者の育成等により地場産 業の振興を図るもの	物産展開催の要望は一定数あり、今後も県外を中心に実施を継続する。首都圏での物産展は二子玉川開催を予定し、ワークショップ等のイベントを実施。販売のみではない新たな形での開催を検討する。他市事例を研究し、既存の支援策を継続しながら新たな支援の形を検討する。体験講座の開催を市のSNSで周知する(参加者アンケートを実施し、SNS経由の参加率を集計)。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 昨年度の評価も改めて参考にしてください。なお、通常のイベントでは顧客層が固定化されますので、従来とは異なる分野との「掛け算」を積極的にデザインすることも必要です。例えば、木工×金属加工など比較は価値の差違に気づきやすく、融合は新価値を生み出すきっかけとなります。事業者同士での恒常的な異分野交流なども改めて検討頂くと後述のリブランディングにつながる可能性が高まります。従来施策・事業を続けても大幅な上昇ラインを描くことは難しいため、新分野創出の確率を高める(失敗は行政が吸収することに意味がある)に挑戦してください。 2) 指標の設定 工業振興事業の評価を参考にしていただき、「アウトプット」・「アウトカム」指標を設定してください。また、その際にロジックモデルやエビデンスベースで設計、妥当な目標値設定をお願いします。 3) 今後の方向性他事例の研究は重要です。京都府/京都市の取組、燕三条などで伝統工芸等のリ・ブランディングの取組が盛んに行われていますので、可能であれば支援事業として事業者の方々と視察等を検討ください。ただし、支援事業は全員を対象にするのではなく、やる気のある方に限定して実施するなど基本方針を「全員で底上げ」から「トップピークを伸ばす」に切り替えて頂くことを強く推奨します。
商工課	脱炭素型大規模投資支援事業	市の企業におけるゼロカーボンに向けた取組みを加速することを目的に、市内で脱炭素社会に資する製品やサービスを出すための大規模投資を行う企業を支援し、ゼロカーボン産業の集積を目指すもの	今年度、新規事業としてスタートし、一定の成果があった(申請1件。交付決定)。 事業の規模や分野等の条件から案件が限定されるため、取り組む企業の確保が課題となるが、本制度をきっかけに、市内企業の取組推進、市外企業の誘致を目指した周知を行い、市のゼロカーボン推進を図る。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 分野や条件を設定し、リーディング企業の発掘やトップピークを伸ばす投資事業として高く評価をします (※他の事業も同様にトップとフォロー (ベース) 支援の視点で事業設計をして頂きたい)。 2) 指標の設定 支援件数は活動指標に相当しますが、難易度の高い事業であるため成果指標 (KPI)とすることも可能です。その場合は、エントリー企業を発掘するためのフォーラムやセミナー、協議会 (MZCC参画)等への参画企業を増やすことを活動指標とし、補助事業へのエントリー企業獲得が成果指標1 (アウトプット)、その結果として事業化が成果指標2 (アウトカム)となるロジックモデルを設定してください。もちろん、より野心的に成果指標3として脱炭素への貢献(e.g. 従来の炭素排出量の〇%)なども設定出来れば理想的ですのでご検討ください。 3)今後の方向性 G (Green)・S (Sustainability)へのトランスフォームは、ESG経営が浸透すると付加価値から基本価値(前提)へと変化をします。サプライチェーンに、LCA (Life Cycle Assesment)が組み込まれ、サステナビリティ・チェーンへと変遷しますので、材料調達や製造工程における環境対応に変革しようと取り組む意識のある企業を優先的に支援し、地域・業界をリードすることを支援する事業を検討ください。
商工課	産業創発支援事業	「松本市工業ビジョン」(計画期間: 平成30年~令和9年)に基づき、重 点産業の推進や新製品開発、販路拡大 等の支援、ICTの活用推進等によ り、産業創発力の向上や生産性の向上 等、製造業の活性化を目指すもの	食料品製造業については、国の支援もあり一定の進 捗があった。産業用機械分野は、研究会がスタート し、自動化診断等を実施しやや前進した。 口 自	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 昨年度も記載をしましたが、事業創発に留まらず、産業創発の事業要素も強化をお願いします。現在の事業名が産業創発ですが、いまだ個々の企業活動支援のウェイトが大きいと感じます。クラスターを形成する要素も必要ですが、クラスターをデザインして要素を育てる補助事業(あるいは支援カテゴリー)を検討ください。 2) 指標の設定 昨年度の評価内容に基づき、従来指標を活動指標に、新たに事業化や販路拡大状況を成果指標に設定されたことで事業のロジックモデルが整理されたと考えます。なお、可能であれば事業化件数等は、実数よりも割合等(事業化/支援)の方がコントロールしやすいと考えますのでご検討ください。 3) 今後の方向性ボトムアップの創発支援も重要ですが、市・担当課(担当者)がオーナーシップ/リーダーシップを持ち、戦略仮説を産業界に提案することをすすめてください。他市事例においてもその方が、事業の推進力・実行力・達成力が高いと感じます。一例は、昨年度も少し書きましたが、世界的に関心が高く、人にとって最も重要な1次産業、アグリテック・フードテック分野です(日本の投資はアメリカの2%程度で最低ランクです)。植物工場等の本格化によって無農薬、人的コスト0、安定環境で生産が可能になりますが、そのためにはロボットや施設、プログラミング、新たな流通の仕組みやサービスも発生します。

労政課	ものづくり人材育成 事業	平成24年に松本市で開催された技能 五輪全国大会を契機に、次代に繋がる 人材育成施策として、市内の学校、企 業、労働団体及び行政等で構成する連 絡会を設立し、若年者の人材育成や地 元への就職、定着を支援するもの	ものづくり分野の職業を目指す若者は減少傾向にあり、このままでは技能の継承が困難となり、地域産業の持続的発展に影響を及ぼすことが懸念される。技能尊重、若者が職人を目指す社会を作ることの一致能尊るよう、これから就職する中・高生に、技能職を中心とした職業・就業について情報提供と身近に感じられるよう体験的な情報発信に努める。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 昨年度から事業内容の変更点がありませんが、一方で指標等も特に伸びている訳ではありません。技能継承のあり方について若者と感覚・意識のズレがある可能性もあり、認識等を確認する調査等も検討ください。(詳細は3)今後の方向性に後述)。 2) 指標の設定 昨年度外部評価に基づき、事業マネジメント強化にむけて活動指標を追加頂いた点は評価をいたしますが、ロジックを再確認ください。①進路情報誌の発行部数は中学生の生徒数減少と連動するだけであり、また冊子の善し悪しで増減もしない指標です。活動(アクティビ・ディ)指標としては、例えば冊子での紹介企業数の増加(延べ数)などを設定することが望ましいと考えます。②の技能五輪全国大会出場者数は人材育成事業の善し悪し・結果で増減するならば、成果指標とした方が良いと考えます。③市内企業への就職率は事業目的(ゴール)なので成果指標とした方が良いと考えます。3市内企業への就職率は事業目的(ゴール)なので成果指標とした方が良いと考えます。3市内企業への就職率は事業目的(ゴール)なので成果指標とした方が良いと考えます。なお、その他指標として見学会やワークショップ等イベント参加者における関心度、満足度(可能ならば、就業や地域定着意向もあり)などを把握することで事業内容の見直しも図れます。 3) 今後の方向性 従来の技能・人の手による作業が是で、ともすれば、関心がない若者や新しい手法が非という構造が前提になりがちです。そうではなくハイブリッドや人から機械への移行もあり得るなど、先を見据えた事業デザインを再度検討してみてはどうでしょうか。
商工課	企業事務所等誘致事業	企業が松本市に事業所を設置すること に対する支援を行い、上場企業等の事 業所を市内へ誘致することで、雇用機 会の確保及び地域経済の発展を図るも の	現在、継続分2件のみだが、問い合わせは一定数 あった。今後も積極的にPRし松本市への誘致を図 る。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 移転企業等があった場合にのみ事業経費が発生する(作業等人件費除く)ため、継続しても問題はないと判断することもできます。しかし、現状の実績(活動指標)やこれからの働き方や産業のあり方、定住概念の変化、サステナビリティ等価値観の変化などを考慮すれば、昨年度とほぼ同様の内容(考え方)で「継続」することは見直しが必要と考えます(※支援額の多寡の問題ではありません)。 2) 指標の設定 現事業内容において「補助金交付件数」→「事業所誘致件数(定着)」はロジックの骨子ですが、上記記載のとおり事業デザイン(戦略仮説)の見直しに併せて修正が必要と考えます。 3) 今後の方向性 海外では人依存の作業がどんどん減少傾向(雇用減)にあり、日本も少しずつシフトしています(大幅に遅れていますが・・・・)。もちろんエッセンシャルワークを始め、人に依存する事業もありますが、工場誘致しても人はいない、というのが起こり始めています。従来のように何でも事業所を設置して地域雇用(工場作業員を確保)という考え方は、未来を見越して視点の切り替えが必要です。もし、本事業を当面継続するのであれば、別事業ではありますが、脱炭素大型投資への支援のように松本市として誘致したい領域を明確にする、支援額にグラデーションをつけるなど、支援事業の魅力を再度設計、他地域との差別化を最低限する必要があると考えます。
商工課	テレワーク事務所設 置支援事業	企業等が本社等の業務をテレワークで 行うサテライトオフィスの開設を支援 することで、雇用機会の確保及び地域 経済の発展を図るもの	本年度は2件の新規利用があった。 コロナでテレワークの拡大や柔軟な働き方が浸透 し、今後もこの状況が続くと予想されることから、 積極的に制度をPRしサテライトオフィス誘致を図 る。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 本補助事業の利用者がさらなる拡大をする(ニーズがある)ならば、事業適用対象をこれから法人登記をする団体にも適用する、登記費用等も支援に入れるなど施設・環境整備の前提となる「起業」側面もカバーするようにお願いします。また、既に開設しているコワーキング等のリノベーションなども対象にすることで"事務所設置"のような作業的な事業ではなく、ライフシフトを支援する価値創出事業として位置づけられると考えます。 2) 指標の設定 現事業内容において、交付件数→開設件数は、事業ロジック的に矛盾はありませんが、社会的ニーズや松本市の規模として2件(令和7年度0)が妥当であるのか、目標値の設定基準(根拠)を再度検討ください。 3) 今後の方向性 昨年度、「企業事務所等誘致事業」の評価(改めて確認ください)にも記載したので鮮度が下がる(いいかえれば、今やらなければ周回遅れが加速する)のですが、駅前周辺の店舗のできフロア等を市が本事業主体となって積極的に活用し、商業施設とオフィスの複合利用なとフラグシップ事業を検討ください。テレワークオフィスの設置を商業施設に近づけることで消費も加速する、人の交流も加速できます。また、テレワークではありませんが、学生等に向けたラーニングコモンズ整備などにも本事業を拡大することは可能ではないでしょうか。

労政課	地域就職氷河期世代 支援事業	バブル経済崩壊後の雇用環境が厳しい 時期に学校を卒業した就職氷河期世代 について、国の交付金を活用して実態 を調査し、社会保険労務士による相談 などの就労支援を行うもの	既存の相談支援を拡充した事業であり、令和4年度 に対象世代の実態調査を行い、その内容を分析した 上で今後の事業を進めていくため継続するもの	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1)内容評価 国の会議で「就職氷河期」という表現がそもそも当該世代のやる気をそぐような表現となるため修正を求めたことがありますが、市は独自の表現等を用いてモチベーションアップし、参画したくなるような事業にして頂きたいと思います。 2)指標の設定 活動として「相談」があり、結果として「就業」、成果として「継続的な就業(ジョブチェンジも含むめて)」が、本事業のロジックモデルの基本となりますので指標としては理解します。ただし、相談者が氷河期世代であることを自覚してきたのか、たまたまその世代だったのかは判別が難しいと考えます。もしこの事業を評価するならば、新たな取り組みとなりますが、アンケート等をもとに「支援対象者」を再定義し、「伴走支援」等の実施数などを活動指標とするようにお願いします。 3)今後の方向性 本事業と併せて大学等と連携したリカレント事業等を展開し、創業者支援事業やものづくり人材育成支援事業などとも接続するなど、一連のキャリアサポートをデザインするようにお願いします。
農政課	健康生きがい市民農 園事業	者の生きがいづくりとして、土と親し	設置から十数年経過し、その間一度も整備していないため、農園環境(土の状況)が著しく低下している。 計画的に農園整備(起耕)し、利用者からのアンケート結果に基づき農園環境も併せて改善する。 地主の意向により市街地の農園が閉園傾向にある。 自己保全している農地を農園として利用するよう促し、地主等が管理運営する市民農園を増やし、利用 コンセプト合った農園の設置を推進する。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 本事業は10年以上の事業実績によって運用スタイルが確立された点はメリットでもありますが、他方予測されていた土地利用に関するリスクの現実化、社会変化とのズレも発生している部分については見直しが必要と考えます。 2) 指標の設定 昨年度から指標の見直しを頂き、インプット(利用割合)からアウトカム(満足度)へと再設計されたことで、事業のロジックモデルは修正されたと感じます。 3) 今後の方向性 土地利用や管理連営なども次の10年を見越して戦略立案を早急に進めてください。直近では、キャンプ(コテージ〜グランピング)との組み合わせによる動機付け、サスティナビリティ推進と掛けあわせた利用(料金や税制優遇)、アグリ/フードテックによる農園の管理、食育や交流拠点として市民以外への開放、市内外の交流事業展開など、松本市の独自性を創ること、他の事業と連携することで相乗効果が期待できるものヘアップグレードすることを望みます。
農政課	農畜産物販売促進事業	市の農畜産物のブランド化や販路力強化を推進し、農業所得向上につなげる。農産物の地産地消の推進と消費拡大を図ることで地域の農業及び関連事業の振興を図り、地域を活性化させる。	市内で生産される農畜産物について、市民や松本を訪れる方に向けた情報発信が十分でない。特に高付加価値化された農産物がきちんとPRされ、適正な価格で取引されることが農業所得の向上につながる。1年間SNSを通じた情報発信を行ったが、内容をブラッシュアップするとともに発信回数増やす。学校給食の地場農産物の使用率は、県平均に比べて高いものの、使用率向上の余地は十分にある。給食センターへの搬入に課題があることから、関係機関と調整する。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 意欲的な目標を立てて、実績を積み上げていることを評価します。事業の狙いに対して口ジックを持って取り組みが展開されていると評価しましたが、内部評価や昨年度評価にも記載のとおり「情報発信」は課題として、改善の余地があると考えます(詳細3)今後の方向性に記載)。 2) 指標の設定 外向け、内向けのターゲット別にインプット指標が設定され、目標値達成ができていることを評価します。他方、課題である「情報発信」の評価指標がないため設定が必要です。例えば、ブランド化指標(知名度~購入実績)などの追加を検討ください。3)今後の方向性情報発信を具体的にどう改善するか、どのような内容に取り組むか記載ください。昨年度も記載しましたが、例えば松本一本ネギであれば、深谷ネギ等とのコラボレーション、餃子や鍋などネギを活用できる料理とのコラボレーション等など市内だけでなく、市外との連携も重要です。少し前のご当地グルメ戦略(代表例は富士宮やきそば)ですが、本戦略によって認知を全国的に獲得しています。また給食では、塩尻市と比較するとサイトなどの活用のしやすさが全く違いますので、参考になります。その他、大学生協とのコラボレーションなど松本市のアドバンテージを活かした戦略を検討ください。

農政課	農業者育成事業	農業者の高齢化、担い手不足による農業労働力の低下等による未耕作農地のこれ以上の拡大を防ぐため、農業後継者組織への活動支援や農業経営における経営規模拡大、高価値作物への経営転換を目指す農業者へ支援をすることで、農業者の育成を推進するもの	各種補助事業を活用して、経営規模の拡大、高収益 な品目への転換による農業収益の向上を推進する。 これからの農業を担う後継者組織の活動を支援し、 農業の担い手の育成環境の整備を推進する。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 支援額の妥当性は他市等との比較を行い、支援内容の棲み分けは関連団体 (JA等) 施策と の対応で決まると思いますが、例えば松本市は4つの補助事業の中でどこが一番の問題なの かを把握(調査)し、重点的に推進する、補助を強化するなども検討ください。 2) 指標の設定 認定農業者の増加→農地集約面積の拡大については、昨年度と同様にロジックモデルの一部 として妥当と考えます。ただし、本事業の目的は、人材育成であり、経営規模拡大、高付加価値化です。アウトカム(成果指標)としては、農家の収益拡大や地域の農業生産額を設定 する必要がありますのでご検討ください。 3)今後の方向性 全体的に「認定農業者」への支援策としては理解しますが、そもそも認定農業者となる人材 の育成、継続的なフォロー(伴走)等がなければ、新たな事業計画策定や助成金活用なども 伸び悩むことになります。「新規就農者育成事業」等と連携し(そちらには認定農業者等の ことがあまり記載されていない)、事業名にある「農業者育成事業」としての事業内容の拡 充をお願いします。
農政課	農村女性活動推進事業	て活力ある農村社会を構築するため、 各種学習活動等を通じ農村女性活動の 推進を図るもの また、家族単位で農業を営む農家にお いて女性の役割を明確化し、社会的地	まつもと農村女性協議会は、会員相互の交流を目的とした料理教室等及び地区公民館と連携した地域活動を行っているが、会員が高齢化し、新規加入会員がいない中で事業がマンネリ化している。こうした状況から、地区で若手との意見交換等を改めて実施し(特に男女という区分ではない)、幅広い年齢や性別の方が参画できる組織づくりを検討する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 内部評価でも示されており、昨年度評価(参照ください)でも記載しておりましたが、「新規就農者育成事業」や「農業者育成事業」と連携(あるいは一つにして)"次世代の若手との意見交換(特に男女という区分ではなく)"等を改めて行い、10年、20年先について対話をおこない、制度設計を検討することを提案いたします。 2) 指標の設定 現事業を継続するならばとなりますが、事業目的から考えれば、家族経営協定は活動指標です。成果指標としては、例えば「女性の農業経営者数」や「協定締結後の従業満足度」を設定しなければ、事業評価としては十分にできないため検討をお願いします。 3) 今後の方向性 上記1) 内容評価に記載し、昨年度も記載したとおり、現時点での活動は理解しますが、一度フラットな状態でこれからの農業コミュニティや経営スタイルを考える必要を感じます。特にスマート農業(アグリ/フードテック)は、労働集約を解消したり、若著(女性含む)参加、収益の安定・向上を期待できますので、ビジョンに併せて、他の就農者支援とまとめて取り組みを進めることをご検討ください。
農政課	新規就農者育成事業	確立のため、関係機関が連携して農地 の確保、機械購入等への支援、営農指 導等を行うことで、安定的かつ効率的	耕作者の高齢化や後継者不足で、農業生産力の低下や農地の適正な活用の低下が懸念されている。 県内外から意欲ある人材を確保するため、農業経営に必要な農地の確保、農業機械等の取得に対する支援を行うほか、地域の農業者を中心とした営農指導により、新規就農者の地域への定着を図る。また、情報発信の強化及び受け入れ態勢として住環境の確保関連施策を地域協働により実現する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 一次産業は労働集約や環境依存が強いですが、アグリ/フードテックによってそれらを解消することが不可欠になり、ドラスティックに変革することが求められています。しかし、他方で古い慣習等があり、特に用地確保や団体等との連携においては苦労することが多いと考えます。資金的な支援も必要ですが、重要なことは「伴走」や「フォローアップ」です。そこを事業として全面に表現することをご検討ください。 2) 指標の設定 活動指標(インプット)として「補助事業の交付件数」に対して、成果指標(アウトカム)に「営農継続者数」は事業のロジックとして妥当ですが、厳密には累計数ではなく、「継続率(継続者数) は事業のロジックとして妥当ですが、厳密には累計数ではなく、「継続率(継続者数/補助数)」を設定すべきだと思います。例えば、全国や他地域での継続率を把握し、松本市の独自性を加味して継続率の設定をお願いします。 3) 今後の方向性 本事業の前提として、農業に関心を持つ人材の発掘や育成が必要です。また、既存事業である「農村女性活動推進事業(見直しを提案)」、「農業者育成事業」等と事業目的や内容の重複なども感じますので、守備範囲や連携、集約を再度検討し、選択と集中することをご検討ください。

農政課	スマート農業推進事 業	スマート農業を推進するため、農林水産省の「スマート農業技術カタログ」	スマート機械は、大型で高価なものが多く、経営面積や費用対効果を十分に検討する必要がある。こうした状況から、大規模経営農家が積極的に導入している。資材価格が高騰する中、農産物価格に生産コスト上昇分をいかに転嫁するかが今後の課題。引き続き、省力化、精密化や高品質生産を実現するための機械導入を推進する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 アグリ/フードテックによって一次産業はドラスティックに変革し、ジョブとしても大きくリブランディングできる可能性があります。申請申込も想定以上とのことであり、当面は継続事業となるものと理解します。その意味では、他事業の見直し等を行う中では、成果及びコスト(支援額)も増と判断すべきかと考えました。 2) 指標の設定 成果指標は、見直しあるいは追加が必要と考えます。農地集約だけがスマート農業の成果ではありません。補助者に対しては調査が可能だと思いますので、例えば「コスト削減率の平均値」や「収穫率アップの平均値」なども必要になると考えます。なお、雇用等は逆に減少する可能性もありますので、設定は避けた方が良いと考えます。 3) 今後の方向性 申込も多数であること報道されているますが、これらをしっかりアピールする取り組みを推進事業の一環として進めてください。また、資金的な支援も必要ですが、重要なことは「伴走」や「フォローアップ」です。人材育成系の事業と連携し、相談対応やサポートも事業内容に組み込むことをご検討ください。
農政課	農用地高度利用流動 化事業	核的な担い手の育成・確保と農用地の 有効利用を図り、農地保有の合理化と 地域農業の振興、農業構造の改善に資 するもの	地域の農業の中核を担う農業経営体が、安定的で効率的な農業経営を継続できるよう農地の集積・集約 化を図り、併せて規模拡大を目指す兼業農家への支援を検討し、地域農業の維持・発展を図る。 「人・農地プラン」から「地域計画」への移行を踏まえ、賃借が進まない狭小・不整形等の悪条件の農地への対応を検討する。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 昨年度同様のコメントになりますが、スマート/インテリジェンス農業を推進する上では農地利用の効率化は極めて重要です。農地等の現状評価(登記と用途の整合、貸し手・借り手の年齢等属性の把握)等も含めて継続して頂きたいと考えます。 2) 指標の設定 本事業の目的や成果までのロジックモデルを想定し、「活動指標」を設定してください。例えば、「土地利用型経営規模拡大奨励金交付事業」は、対象が認定農業者であり、認定農業者の増加、農地集積(集約)やスマート農業に関するセミナー等で実施が、活動指標になり得ると考えます。また、目標値設定の妥当性を再検討(見直し)ください。令和7年度の目標値として2,700kがありますが、候補となりうる全農地の中での割合が見えません。また市としての重点地域や優先順位等の方針(例:狭小・不整形地)に併せて、それぞれの到達度等を測定できるように指標の追加を検討ください。これらによって事業管理としての精度や解像度が向上します。 3) 今後の方向性スマート農業等への転換率等が分かれば、成果指標としてより妥当になります。またWebサイト等でそれら転換事例等も併せて紹介するなどもご検討ください。
農政課	経営支援対策事業	農業者の経営意欲の減退を防ぎ安定的 な経営を支援するため、倒木撤去事 業、農作物食害防止事業、収入保険加 入支援事業などを実施するもの	有害鳥獣による農作物被害の防止、自然災害による 収入減少への備えなど、今後とも様々な取組みで農 業者の経営を支援する必要がある。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 主観的な評価かもしれませんが、経営支援対策事業の名称に多少違和感がありました。一次 産業だけ特別視にならないように避けているのかもしれませんが、内容的にはリスク軽減や 補填となっています。広義に言えば、農業参入リスク軽減事業なのかもしれませんが、名称 は再検討する余地があると感じました。 2) 指標の設定 本事業の目的や成果までのロジックモデルを想定し、「活動指標」を設定してください。例 えば、「獣害による農作物被害金額」であれば、防止事業の実施状況や対策事業の進捗など がそれに相当します。 3) 今後の方向性 従来型の屋外型農業に特有のリスクであり、気候変動や土地利用の変化によって被害が増大 方向に向かうことが予測されます。そのため他方では、廃校や廃工場、空き家を活用し、い わゆる植物工場などの導入も検討ください。それらであれば、ほとんど影響は受けず、ス マート化等への投資を拡大することが可能になります。

商工課	クラフトのまち推進 事業	かし、作家が制作・発表・交流できる 機会を整えることで、作家の移住を促 すとともに、年間を通じてクラフトに	クラフトフェアの安定的な継続開催を支援することで「クラフトのまち」としてのブランド力を維持しつつ、作家にとっての販路開拓や創造性の機会、クラフトファンにとっての出会いの機会を5月以外に設けることで、移住・誘客の増加につなげる。	信州大学 副学長 学術研究・産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 現状の取り組みは、継続的な内容のようですが、成果指標は大幅に向上できる余地があります。クラフトのまちづくりのターゲット(≒ペルソナ)を明確にし、A I DMA(*)やカスタマージャーニーマップ(*)の各段階で現在の事業内容がどう位置づけられるか、どう認知(記憶)が形成されているかを改めて確認し、戦略・戦術のアップグレードが必要と感じました。また、それは送り手・発信者となる市民に対しても同様です。外向けのブランディングだけでなく、内向けのブランディング戦略等も同時に検討ください。 ※注: ブランドの本質(所在)は人の認知・記憶であり、その戦略・戦術立案には広告-購買・消費行動の古典的モデルである A I DMA(A t t e n t i o n,I n t e r e s t,D e s i r e,Memo r y,A c t i o n)やカスタマージャーニーマップが参考になります(※A I DMAの後発・発展モデルで Memoryを抜くモデルは意味がありませんのでご注意ください)。 2)指標の設定 [成果指標] の認知度は目標値20%弱で設定されていますが、市民(≒送り手側)であれば100%、お客様(≒あえて市外のクラフトに関心のある人・消費者)は、例えば75%のように指標を検討ください。 3)今後の方向性 地域特性を検討ください。 第6000000000000000000000000000000000000
商工課	松本ヘルス・ラボ推 進事業	スのモニタリング事業等を通じ、市内 外企業や学術機関との連携を積極的に 支援し、社会実装に繋がる新たな産業 創出を推進するもの	これまでの会員増大の手法は、各種モニタリング事業を実施するたびに健康意識の高い方を会員として取り込んできた。今後もモニタリング事業を実施することで新規会員を獲得する方法を踏襲しつつ、新かに商品モニターやアンケート調査など、手軽に参加できるモニタリング事業を増やすことで成果を高める。また、ラボアプリを活用するため、他のヘルスケアアプリとの連接やボイント交換等のサービスを拡充し、健康無関心層へのアプローチを図る。	信州大学 副学長 学術研究·産学官連携推進 機構 社会連携推進本部長 林 靖人 教授	1) 内容評価 会員獲得の目標値は現状、50%弱の達成度ですが、コロナ等の影響以外にも従来の獲得方法(設定したターゲット層)に限界があるかもしれません。内部評価でも改善策が提案されていますが、昨年度も提案したような特定健診との連携や企業の健康経営支援の新事業との連動、法人以外に学生会員制度などターゲットを拡大し、それぞれに合わせた動機付けの仕組みやインセンティブを含めた新たな仕組みもご検討ください。 2) 指標の設定 本事業は商工課の担当ですが、ビジネス創出以外にも市民の健康意識や配慮行動の増加、医療費削減などが本事業のゴールと考えます。これら観点も成果指標の中に組み込むことをご検討ください。 3) 今後の方向性 上記1) 内容評価、2) 指標の設定に記載のとおり、事業開始から10年が経過する中でこれまでの蓄積を踏まえて、次のステージへと発展させること(特にターゲット層の拡大)を検討ください。例えば、本市は大学が多く、県外出身者も多いですが、奥事や日常の健康状態チェックなどは本人任せです。学生会員(有料サービス等の一部を無料化)として健康サポートをする中で、ヘルスラボ事業にも参画してもらう仕組みなどが考えられます(ヘルスラボが目的ではない見せ方であれば大学支援もしやすいのでは)。またそれが将来の関係人口としてのリンケージの強化にも繋がる可能性があるかもしれず、少し広い視点で本事業の発展を検討頂ければ幸いです。

TP (11) (11)	又	サイカラ	計畫	四10	רויין /	1 44-1支	小坛小	ルサイ	ᄁᆍ	木 /				
事務事業	名	こだわ	りのある	商店街	づくり	事業								
担当所属		商工課									連絡先		34-3	110
関連所属		++	k± +n.1											
【事務事														
分野 基本施策		経済・産 1 ギネ		刘生										
	6 –	<u>し 和色</u> 経済・産	都松本の創業	引足			マ	山重	丵夂	こだわりのある商店街	づくり事	学		
合 基本施策			.未 都松本の創	訓造			予算	丁爭	木口	こだりののの同点は) / / / 	木貝		
計							事							
画							業							
事業期間			~		会計種	重別	一般	会計			事業種別		政策	的事務
根拠法令要綱	松本	市商店街	活動振興等	事業補助:	金交付要網	畄								
地域区分					施設種	重別					予算要求	区分	経常経費	
【事業概	要	・指	標】		•									
事業概要								5	付象指	á標				
趣旨・目的	,								(1) PE	 商店街団体等数				
商店街で実が 支援を通して、	Teする タノ	個性ある の市民や	集各イベン 組出安が	ントや共	同で行う!! カある商ロ	仮売促進活 ま待づくし	動へ	(0)	- ·					
文版を通じて、る。	クヽ	ין שנויני	またしてはい。	いっての)MA.	기년	コロンへい	, c 🗷		2					
								3	活動指	i標				
<u>内容</u> 1 商店街まち	おこし	,事業							1	商店街活動振興事業補助				
個性ある誘	客イ/	ベント事	業(事業費	が50万円	9以上)に	対し、開	催に	_	2					
要する経費			·	L 4 \ L 4	·/ /- / •»	· > . ^/~ \								
・7件(信州	魅力3	モ兄ノロ	ジェクト、	<u></u>	が田用1八	ノト寺)			3					
2 商店街活動								j	成果指	 標				
共同で行う					を支援				1	Tthink local, buy loc	cal」運動	品賛会	員数	
・5件(おも	(4)	ン伊勢町、	中面bayb)ay 寺)										
3 商店街賑わ									2					
歩行者天国	を実施	をする誘	タイベント	に要する	る経費の1/	2を支援			3					
・2件(石芝	よフ	7、/\/bi	与 本中)					2	功率指	5標				
								ľ	1)	1100				
								-	_					
									2					
【今後の方	向性	E												
一次評価(「	为部	评価)												
今後の実施方向	-					前年度の網		継				今往	後の見込	<u>.</u> み
						や効率化の)ため	に商	吉街た	が必要としている補助?	を把			スト
握し令和6年 ・DXやゼロカー						や上限額を	- 優语	する。	ーとを	を検討する。		_	削減(約	<u> </u>
27. 6273	.,	13 12 1317	, C-MHO)		10.1113-23		- 122	_, _			成	上昇 維持		0
											果	縮小		
二次評価(名	外部	评価)												
4 \ -1														
1)内容評価	ш≾н	u	た事業がる	五月1 3	(千新七年)	+/有:田/石/	a I = ±	z + :	ᄼᆓ	商店街等においては必要	_{⊞ ≠ >} \			
R3年反コロノM 事業である(氰	ョで中 男要が	血こなっ(ある) こ	に事業が	ヵ囲し、 れていま	泊野油信息 すが、本語	み1を調1項15 事業が目的	り達成	うる/こ (=:	か、ii 多く0	が の市民や観光客が訪れる	える 2→ /			
売上等増加)は	こ効果	があるの	かは指標さ	含めて判	断がしづら	らい状況で	です。		, , ,	- 1 2 V . ABB A 10 AB				
2) 指標の設定	E + ⊢	ボのとも	い立安粉っ	ですので	石川ライギタ	マイベント	ωF	は亜米ケ	- 44 -	する来客数(達成率)な	نيان:			
										は、本事業を実施して ¹		$\overline{}$		
す/事業を実施	して均	曽えるの ^っ	であれば、	因果関係	系的 (時間	軸的) に	成果	指標に	なる	かもしれませんが、「				
		中小企業	振興事業」	の商業	分野におけ	ナる一指標	祟とす	る方	が妥当	旨であると考えます。				
3) 今後の方向 R6年度の見直し		こだわり	/個性」を	際立たも	せること、	長野県の	元気:	づくり	支援	金等との違いが分かる	よう			
にお願いします	す。例	えば、内	部評価に記	記載のあ	る「ゼロカ	カーボン」	を発	展さ	せ、	「エシカル」消費などの	D			
										フンドをターゲットにす ることも可能になりま				
みに 秋り混むこ	_ ت (۲	174年170.	1向右担り汁	サは ノヘ	·) · / / /	ティング	エ以!	水口川に	.進め	つここひり形になりま	90			

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標		団体	60	60	60	58			
入13个1日1示	2								
	1	件/年	10	16	14	24	24	R5	58%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	店舗			56	70	70	R5	80%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
が 学行信	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

コロナ禍によるイベント自粛や縮小傾向から回復傾向がみられ、来年度以降実施件数はコロナ禍以前の状況に戻るものと考えられる。

成果指標の増減維持理由

商業ビジョンの重点事業として設定している、「think local,buy local」運動の協賛会員数を成果指標として追加。地域の魅力を地域で 支える機運を醸成し、多くの市民や観光客が訪れるこだわりのある商店街へシンカするもの

【投入コフト・人員】

7.3	<u>ス</u> ノ	<u> </u>						
	í	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> -</u>	<u>-タル</u>	/コスト	千円	8,988	3, 351	5, 856	6, 332	7, 626
=	事業員		千円	8, 232	2, 595	5, 100	5, 576	6,870
	4+	国庫支出金	千円					
	特定財!	県支出金	千円					
	撮	地方債	十円					
	源	受益者負担	千円					
	"" ",	その他	十円					
		一般財源	千円	8, 232	2,595	5, 100	5,576	6,870
		貴合計	千円	756	756	756	756	756
	正	規職員	千円	756	756	756	756	756
		人員	人	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	会計	年度(フル、1・2類)職員	十円	0	0	0	0	0
		人員	人					
		十年度(3類)職員	千円					
	そ	の他職員	千円					
 -	- 夕 川	ノコストの増減組	維持理は	3				

・一タルコストの増減維持埋田

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

想定する成果や効果に結びつくものになっている 一次評価

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

 一次評価
 B
 なっている

【総	:合評価)						
評価	В						

下和 3 千皮 事份事未計Ш衣 (下和 4 千皮	祁 华祁	ル サ ・	カサ	·未 <i>l</i>				
事務事業名中小企業振興事業								
担当所属 一問法 「問法 「問法 「問法 「問法 「問法 「問法 「問法					連絡	洗	34-3110	
関連所属								
【事務事業基本情報】								
分野 6 経済・産業					_			
基本施策 6-1 新商都松本の創造	-	十古	****	T十小				
総 分野 6 経済・産業 合 基本施策 6 - 1 新商都松本の創造 計 画	予	甲争	美石	中小企業振興費				
合 基本施策 6-1 新商都松本の創造	算事							
画	事業							
事業期間 R元 ~ R10 会計種別		会計			事業	活 別	政策的事	文文
事業期间 R元 ~ RTU [云訂惺別] + 日本			华州沿	重送事業者燃料高騰				初
根拠法令要綱 · 松本市外規模事業有持続化文援補助並父的要綱 · 松本市第6波対応事業者特別支援金交付要綱	• 1	(本巾	貝彻塔	基达争来 有燃料局應	刈來文族	事耒又抜	並父的安綱	
地域区分 - 施設種別					子質	重	経常・政策	的終書
]′异:	女小凸刀	社市・以來に	小吐貝
【事業概要・指標】			1121	K1##				
事業概要			対象技	<u> </u>				
趣旨・目的 松本市商業ビジョン(R元年度~R10年度)及び松本市経営発達	±±4∓	ž=⊥	1					
松本巾筒乗ビジョン(R兀牛度~RN牛度)及び松本巾経呂先達 画(R2年度~R6年度)に基づき、中小企業並びに小規模事業者								
■ (N2千反) 「N O 千反) に塞っさ、中小正乗並ひに小院候事業自 し、経営指導、持続化支援等の支援を実施するもの。令和5年度にP	コロスリ 毎業ト		2					
ジョンの見直しをすることから、活動指標及び成果指標の見直しを	3条t :予定	,	_	k I m				
		-	活動打	旨標				
内容			(1) £	経営発達支援計画に	基づく事	業計画年	間策定数	
1 景気動向調査		ļ	- 1					
景気動向調査 12回、特別調査(コロナ影響調査) 1回			2					
2 中小企業能力開発学院	Ŀ							
自社内で研修を行うことができない中小企業に対し、専門知識 技術を習得するための講座開催支援	ζ.		3					
3 小規模企業指導事業		ŀ	_	노 / 표				
小規模事業者の経営発達支援を積極的に行うため、商工団体が	ï	ŀ	成果排	首 標				
行う伴走型の経営指導に対し支援			1					
4 小規模事業者持続化補助金		_						
小規模事業者(市内9,086事業者)による、販路拡大・生産性[2					
取組みを支援するため、国の持続化補助金への上乗せ補助を行	「つも	,0)						
<一般型> 40件(見込み) 5 貨物運送事業者燃料高騰対策支援事業支援金			3					
	業者	fic l	効率打	匕 / 西				
対し、価格転嫁を推奨するとともに事業継続のため支援金を交		`		日1示				
6 第6波対応事業者特別支援金			1					
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、影響を受けてい	る	ŀ						
事業者の事業継続及び回復のための支援金を交付 交付実績 4.110件(1件当たり一律10万円を交付)			2					
文刊 美観 4,110件(1件目にり一年10万円を文刊)		l						
【今後の方向性】								
一次評価(内部評価)		1.60	14±					
今後の実施方向性 継続 前年度の結			続恋なる	tuce mentat	₩		今後の見込み	
中小企業に対する基礎的な支援を継続するとともに、経済をとりま を行う。	: 乀 塓	現の	変化で	ととりえ、品時の文	抜朿寺		コスト	
で1J ノ。					ŀ		削減 維持	増入
						成 上昇		
						成果網		
						~ 編/	1,	
二次評価(外部評価)	_							
1)中央部体							_	
1)内容評価商業ビジョン、経営発達支援計画に基づく事業であるため昨年度の	/ 玄体で写	■☆	た νΕ	ヨハキオが 防時の	がは茶	\		
同衆にフョフ、柱呂先達文援計画に奉うく事業であるため昨年反の としては、コロナ等の危機対応だけでなく、ビジョン基本方針1「f	が が が が に が に い に い に い に い に り に り に り に り に り に り	゚ ヺ ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゚ヺ゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙	1、これ	ふいみりか、姉崎のたち女援」の組占を同	別心鬼			
重視し、新規事業創出等に積極的に取り組んで頂きたいと思います	70 1 74 :	יו עס כ	ם אני		יו אודוער			
2) 指標の設定	Ü							
昨年度も記載しておりますが、事業の趣旨・目的に対応すれば、「氵						`	V I	
側の満足度や新規事業創出数、雇用増加、売上改善などを「成果指	縹」	(ア	ウトカ	カム) に設定するこ	とが必			
要と考えます。								
3)今後の方向性 東業内容が全体的に「マイナスをゼロリセット」 オスニとにわらか	デモナ	カァ	ı \ ≠ =	ま それまぶ亜でき	ا _{این} ا			
事業内容が全体的に「マイナスをゼロリセット」することに力点が しろ「ゼロからプラス」を創出する事業に力点を置き換えることを	`但り` - 給=-	りんしょ	いよ? ナハ	≀。てイルも必安じり イ※昨年産≠ 圪埣汶	יויי פי			
しつ 「ピロかうプラス」を創出する事業にカ点を置き換えることを 特に世界から出遅れている「キャッシュレス」や「オンライン対応								
支援、デジタル空間活用など重点的に取り組むことを検討ください	۱° (デボ	ヨンル	こはそれら項目も記	載され			
ていますので)	- \	. – –	- 1					

	<u> </u>	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕拍惊	2								
	1	件	606	261	266	266	165	R10	161%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈华伯倧	2								#DIV/0!
(手動を)	年ご中ぐ	#+±TEI+5							

活動指標の増減維持理由 令和2年度実績の増は、新型コロナウイルス感染症対応の国の支援金、持続化補助金等の申請に向けた事業計画策定件数の増によるもの

成果指標の増減維持理由

<u> </u>	<u>1 人 L 人 タ</u>	<u> </u>	人貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4	年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	19,898		23,878		700, 277		454, 964		53,776
事	業費	千円	17,630		21,610		698,009		447, 116		49, 240
	国庫支出金	千円							60,090		
	特 県支出金	千円					656, 565		361,395		
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	愛益者負担	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	17,630		21,610		41, 444		25,631		49, 240
I 기	、件費合計	千円	2, 268		2, 268		2, 268		7,848		4,536
	正規職員	千円	2, 268		2, 268		2, 268		6,048		4,536
	人員	人	0.3		0.3		0.3		0.8		0.6
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		1,800		0
	人員	人							0.6		
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

新型コロナウイルス関連、燃料高騰関連の支援金実施による

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	洽評価)		
評価	В		

ויידר סידו	<u> </u>	尹仍尹未	1丁Ⅲ12 (. ጥ፫ ጥ	176 17 1	ハナ	* /					
事務事業	名	商業振興事業	美										
担当所属		商工課							連絡	先	34-	3110	
関連所属			+ 1										
		基本情報	<u> </u>										
分野 基本施策	6 6-	経済・産業 - 1 新商都松本	の創造										
タイプ 公 公 野 公 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日					予	一中事	業名	商業振興事業費					
合 基本施策	6 -		 ふの創造		算	.1 2	ж н	ロ木ルバナイス					
総 分野 合 基本施策 計 画					事業								
									* ± 111/ =				
事業期間		R元 ~	R 1 0	会計種別	一般	绘計			事業和	重別	政	策的事	務
根拠法令要綱													
 地域区分				施設種別					予算	要求区分	経常・	政策的	小経費
【事業概	要	・指標】		10HX 1773					J / 1 -	×111-11	17-E-1-	P/\-1	ンパエンへ
事業概要		10 101				5	付象指	5標					
趣旨・目的							_	1100					
松本市商業と				づき、中心市街地	也の記	5性 _	1						
化並びに松本巾	5全体	体の商業振興を図	₫ る				2						
内容						E	活動指	5標					
1 中心市街地								2き店舗活用事業補助	件数				
		「繋がる事業に対 Nのき店舗、のき				-							
2 商店街通行)空き店舗・空き 間査	:心间鱼				2	商業アドバイザー支援	件数				
大型店出店	らの影	/響や商店街の繁	終栄度を示す基礎	楚調査を支援			3						
		施設設置事業 ぶみない笑を記録	2、仮従せる車3	サーナー 土壌			。 成果指	S+m					
4 空き店舗活		バ街路灯等を設置 ■業	1・16/2 3 争え	長に別し又1友		1			□				
空き店舗を	·解消	首するため、空き	-店舗を賃借して	て出店する場合の	り		1)	中心市街地の歩行者通 	行 重				
家賃に対し							2 1	公本市中心市街地入居	店舗率				
5 商業アドバ (1) 創業後5			まト向ト等の課題	題を抱える商業者	考に								
対して、	地均	域で活躍する現役	の経営者が「ア	商業アドバイザー	_]		3						
として相	支談主 ************************************	と接を実施 発表を実施	(D) 1 ₋ \	•		3	动率指	i 標					
		養者支援ネットワ ド「事業承継」に) を共有し、個店 <i>0</i>	ת		1						
経営力強	主化と	・ 事来が…」 に ・ 創出を図ること	- かっくがにか、 - を目的として、	、関係機関で構成	戊	-	2						
		-											
【今後の方													
一次評価(ア						74517							
今後の実施方向			<u> </u>	前年度の網		継		- かった母生安力の何	-	分	後の見る		
								される広域集客力の低 ど前から注力していた			削減	コスト	
の強化に加え、								生み出す事業とする	こと	上昇	HJ//W	水压1.4.1	坦八
を検討する。										成維持		0	
										緒小			
二次評価(多	小部	評価)											
1)内容評価空きに鎌や空き	⊏₩₩	9本 海行島調査	5かど宇能押据	+必要ですが ▮	田本却	四生畫/	-1+	減少等の要因の深掘	.1				
対策に向けた提	2案等	穿が十分に見られ	こません。例えば	ば調査結果を商コ	L会議	議所や	青年会	会議所とデータを共有	しな				
がら活用策検討	付する	るフィールドワー	-クやワークショ	ョップを開催し、	そこ	こから	「こ <i>†</i> :	ごわりのある商店街事	業」				
や「空き店舗? 検討ください。	5用争	業」に繋ける、	エリアマネンス	メント戦略を構み	やす る	るなと	非果地	連携によるシナジー創	出を				
(検討へたさい。 2) 指標の設定	2												
本事業の趣旨・	目的							通行量や入居店舗率に					
標として妥当性	Eや訳	明力がやや不足	≟します(アウト	トプットや初期フ ックモデルを改め	アウト ベマゼ	丶力ムI ◆=+ィ-	こ留ま	kる)。例えば、新規 、	出店				
致の増加やイバ 3) 今後の方向		・寺の灰及刈木で	トと事未のロン	ソクモテルで以び	クしか	火一、万十八	ここり	10					
個店の強化、事	事業総							取り組む等をしてく					
								fたに取り組むエキト					
								です。エッジがない事 『業(支援)展開を方					
してください。	-7337		100 6 6 00 6700	/B(() C ()	J. V -70	2.020	<i>-</i> / C - 3		* I				

	<u> </u>	7世 イダオ							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水1日宗	2								
	1	件	4	8	6	6	6	R7	100%
活動指標	2	件	7	14	10	15	15	R5	67%
	3								#DIV/0!
	1	人/日	83, 619	104, 413	101, 139	130,000	130,000	R5	78%
成果指標	2	%	90	91	91	92	92	R5	99%
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈平伯悰	2								#DIV/0!
ハイモニドニエ・ウー	A4 1 1 1 /	14.1 ± 7m = L	·						

活動指標の増減維持理由 活動指標②は、コロナ関連補助金に関する相談件数は除くもの

成果指標の増減維持理由

	【投	: 入 コ ス ト	• .	人員】								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	<u>一分</u>	タルコスト	千円	18, 129		11, 136		11, 375		16,906		23, 312
	事	業費	千円	9,057		2,064		2, 303		7,834		14, 240
		」 国庫支出金	千円									
		符 県支出金	千円									
		特 県支出金 地方債 熨益者負担	千円									
		源 受益者負担	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	9,057		2,064		2, 303		7,834		14, 240
	人	件費合計	千円	9,072		9,072		9,072		9,072		9,072
		正規職員	千円	9,072		9,072		9,072		9,072		9,072
		人員	人	1.2		1.2		1.2		1.2		1.2
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
		人員	人	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
\vdash		アルコストの増減	維持理由	1								

グルコストの追減維持理田

【事業の評価】

A D P I T P I		
[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、	内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	【総合評価】										
評価	В										

la,	ήн J + I:	×	学协学来 计仙仪 (144 44	100	ጥሮችብ	ルー	1277 士	一				
Ę	事務事業名	当	創業者支援事業									
_	担当所属		商工課						連絡先		34-3110	
Ļ	関連所属											
			基本情報】									
分野			経済・産業									
	施策	6 -					- 1112 <i>-</i>					
総	分野		経済・産業		予	中哥	業名	創業者支援事業費				
台	基本施策	6 –	1 新商都松本の創造		算							
総合計画					事業							
	<u> </u> 期間		R元 ~ R10 会計種別			· 会計			事業種別		政策的事務	2女
尹未	· 州		R元 ~ R10 会計種別		刀又	云司			尹未性心		以來的争作	为
根拠	法令要綱	松本	市創業支援事業補助金交付要綱									
地域	区分		施設種別						予算要求	区分	経常・政策的	経費
		垂	・指標】						1 77 20	· — /J	NT 13 DX > R = 3	77.7
	概要	女	1日 1示』				対象	烂 煙				
	· 目的]日1示				
		きおか	「円滑に創業し自立することができるように、	. 対	象と	ਰ	1					
る経	費に対して	補助	プラストンローグ しこん くこ do かんしょ かっこう できるとともに、伴走型の支援を行うもの	, _{),}	<i>></i> , C	- /						
							2					
							活動					
内容		毛岩	計事業									
	新規開業家新規開業家		即事業 話舗を賃借して開業する場合の家賃を補助()	2年月	間)		(1)	新規創業支援件数				
			家賃の3/10 (上限8万円/月)	Z 	PJ /							
	23	年目	家賃の2/10(上限6万円/月)				2					
			イルスの影響下において創業者への支援を				3					
			4.1~R5.3.31に開業した事業者については褚	ໜ	率を		3					
	1年末073/	10/J	〜ら4/10に引き上げ実施				成果	指標				
2	新規開業支	援利	」子補給事業				1	支援を受けた事業者の)5年後事業	継続落	<u>z</u>	
	新規開業者	が開	業にあたり市や県の制度資金等で創業支援	向け	融			<u> </u>	, 5 KT/K	111111111111111111111111111111111111111		
			合の利子を補助(2年間)				2					
			利子相当額 利子相当額の2/3									
	2-	+=	作了于作□台段V72/3				3					
							効率					
]日1示				
							1					
							2					
							, I					
[4	今後の方	向性	ŧ)									
$-\chi$	欠評価(ア	小部	評価)									
	の実施方向						迷続			今	後の見込み	
			「松本市波田商工会、サザンガク内の県「信 _度								コスト	
			「商業アドバイザー事業」との連携を強化し								削減 維持 5	増大
(/)強 ナッタ	化を図りませる	す。 - 会134	また、今年度の商業ビジョン見直しに合わ [、]	せ補	助金	门谷	が見	直しを実施し、より効)果的	上昇		
(よ!)	耒白又抜く	. 剧耒	に対する気運向上を図ります。						限	維持		
										縮小		
<u></u> ;/	欠評価(タ	小部	評価)									
	1 :											
	内容評価			IST AT	1- 7		٠ عد ر .	+ > 7	± \			
			マトやアクションが明確になった段階への支援 マトり組みをお願いします。特に松本市は、県									
			(り組みどの願いしより。特に松本巾は、宗) -ジとして価値を認識することが重要と考え			、フて	川可仅	エィハナエル未み ノし	۵،۸	/		
2)	指標の設定	2								/		
5年1	後の事業継続 かんりゅう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう かんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	続率(は成果指標として良い指標の一つですが、事	業(の成	長率	(雇用	月者数、店舗や事業所担	広大 💳	<u> </u>		
			ども追加指標として検討ください。									
	今後の方向		、「久秳古垤車丵レの油堆!ニトス似土沙ル」	1十四	午戶	F車型	£≣₹₹/J##	での坦安車項でもい	☆			
			。「各種支援事業との連携による伴走強化」↓ 『価をいたしますが、創業支援等はタイミン									
			こうにしていただけると幸いです。	/ IJ	<u>=</u> 5	. 0/.	_0,	ᄗᄜᇈᇛᄱᆿᄾᄱᆛᄼᆜ	'' /			
		· - J										

KIH IN									
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水拍标	2								
	1	件	46	51	49	50	48	R7	102%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	%	90	94	94	95	95	R7	99%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈半怕惊	2								#DIV/0!
ハイエコドコエルコ	Y 1 1 1	# 1 							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【 <u>持</u>	<u> </u>	· • ,	人 貞】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年	度 決算	令和	5年度 予算
<u> -</u>	タルコスト	千円	37, 410		50,560		50, 498		45, 485		40,360
事	業費	千円	26, 382		38, 476		44, 762		40,505		35, 380
	国庫支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	地方債	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	26, 382		38, 476		44, 762		40,505		35,380
人	、件費合計	千円	11,028		12,084		5, 736		4, 980		4,980
	正規職員	千円	9,828		10,584		4, 536		3,780		3,780
	人員	人	1.3		1.4		0.6		0.5		0.5
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,200		1,500		1, 200		1,200		1,200
	人員	人	0.4		0.5		0.4		0.4		0.4
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

新型コロナウイルスの影響下において創業者への支援を強化するため、以下のとおり家賃補助1年目補助率の引き上げを実施。 ・R2.1.1~R3.3.31に開業した事業者…6/10(上限16万円/月) ・R3.4.1~R4.3.31に開業した事業者…5/10(上限14万円/月) ・R4.4.1~R5.3.31に開業した事業者…4/10(上限12万円/月)

【事業の評価】

【総												
評価	В											

-- **

令和 5年	年度 事務事業評価表 (令和 4年度継続事務事業)										
事務事業名	出 地元企業デジタル化	推進事業									
担当所属	DX推進本部				連	格先	48-7000				
関連所属	商工課										
【事務事	業基本情報】										
分野	6 経済・産業										
基本施策	6-2 ものづくり産業の活	性化									
総分野	6 経済・産業		予	中事業名	地元企業デジタル化推進事	業費					
基本施策 計	6-2 ものづくり産業の活	性化	算								
計			事業								
画											
事業期間	R4 ∼	会計種別	一般	会計	事業	種別	政策的事務	j			
根拠法令要綱											
地域区分	_	施設種別	_		予算	要求区分	政策的経費				
【事業概	要・指標】										
事業概要	<u> </u>			対象技	旨標						
趣旨・目的							<u></u>				
デジタル化が	進む世界経済に地元企業が適			.]Д	セミナー、ツール体験イベン	/ト開催件数	又				
	」「オンライン会議」「テレ										
	導入支援を通じて、地元企業	がデジタル化に継続	的に取	(4) 2							
組む「気づき」 <u>内容</u>	を与えるもの。			活動技							
	装促進業務委託										
(1) セミナー	、ツール体験イベント、体験 デジタル化のマインドセット	デース のためのセミナー		1 1	固別相談件数						
イ ツール	テンタル化のマインドビッド /体験イベント)テレワーク体験、オンライン			2	コンサルティング件数						
(2) 個別相談		本日式 「「「「「「人~~~~」 「「「		3	I T企業とのマッチング件数	ζ					
	援の中で企業のデジタル状態	を診断・評価		成果技	上 上標						
	求の電子化の導入支援					A 2114.144.					
(3) コンサル 柔 切する	√ティンク ・企業への個別状況に応じたコ	ニッサルティング		(1)	节役所へ電子請求を実施した	:企業数					
(4) IT企業	正業への個別人がに応じた。 とのマッチング 企業との地元IT企業マッチ			2 1	市役所へ電子請求を実施した	:企業の満足	建度				
(5) チャネノ	レ構築/事業周知 −ムページの構築、WEBや			3	③ 今後さらに電子化を進めたいと思う経営者の割合						
	スペース「デジベース松本」		所)		対 を は の に に に に に に に に に に に に に に に に に に						
企業のデジ	タル実装を促進するベースキ	ヤンプを整備。		効率	首標						
	ンワンオンライン会議システ	-4		1							
	プロジェクター	1)									
	[`] ース(完全個室型、半個室型 ン撮影・配信機材	<u>!</u>)		2							
	システムライセンス、ネット'	フーク工事、壁改修工	事								
	閣府)デジタル田園都市国家			′2							
【今後の方	向性】										
一次評価(ア											
今後の実施方向		前年度の	結果	継続		今	後の見込み				
・デジタル化の	取組意識のない企業へのアウ	トリーチを重視した	取り組	みに移行	する。		コスト				
	企業への継続した伴走支援を	行う。					削減 維持 増	<u> </u>			
・成功事例の横	展開を行う。					成上昇	0				
						R 維持 編小					
二次評価(タ	(部)					小田八丁,					
	1.口581 1四7										
1) 内容評価							1				
初期段階のデジ いるでしょうか	タル化支援は、松本市内にと 。また、現在、商工会議所で	もDxに関するアンケ	ートを	実施してい	ハますが(※着手時期が遅						
	:りますが・・・)、それら関連[- (地域のフラグシップ/トッ '										
指標そのものに	ついては初期段階支援を想定					<u> </u>					
調査が実施して	ぶあると感じますが、目標値の があれば、当該企業が○社あり	、これは市内企業の	● %/こオ	担当し、●							
をなくす(0%)	など、数値設定が厳密に可能	になりますのでご検	討くだ	さい。							

ウト! 来のこ	平価に リーチ・ コンサ <i>。</i> 列とは(記載(する(ルティ 可かな	の方向(のであっ ィング。 など((れば、テ とどの。	デジタル化 ように異な	の取組意 るのか	意識のな (それと	い企業を もコンサ	をどう設定 ナル事業の	(把握) 配分を ³	を上げて記載<) するのか、(挙げるという 上げ、最新の植	半走支 意味か	援は従		
<u>【指</u>	標	の	推移												
		1	回	单位	R 2年B	医実績	R 3年/	き実績	R 4年月	<u> </u>	R 5年度見	<u>진</u> 7	目標値	目標年度	達成度
対象	指標	2								•					
活動	指標	2								37 17		80 40 15		R4 R4	#DIV/0!
		③ ①	回 社							30		60	30	R4 R4	#DIV/0!
成果	指標	2	% %							77 84		80 80	70 70	R4 R5	110% 120%
効率	指標	1 2													#DIV/0! #DIV/0!
		<u>)</u> 曽減絹													#D1V/U!
<mark>成果排</mark> デジタ	活動指標の増減維持理由 デジタル化に向けた地元企業のマインド醸成及びデジタル化を根付かせるための継続した伴走支援を実施。 成果指標の増減維持理由 デジタル化に向けた地元企業のマインド醸成及びデジタル化を根付かせるための継続した伴走支援を実施。														
【投	<u>入</u> 年		スト	、 • 単位	人員】	1 年度 计	算一令	£π ე Έ	工 市 计符	令和	つ 生産 油質	令和		令和 53	生年 圣質
ト <u>ー</u> タ	サンフリング アルコン			千円	平成3	一件反 7	(字 T)	<u> 11 Z I</u>	F度 決算 0	⊤т∤⊔	3年度 決算	卫作	和 4年度 決算 26,272	「中仙 つ」	年度 予算 20,328
事	業費	庫支	山仝	千円									24, 004		18,060
	特県	支出:	五並 金	千円									12,002		
	別一	方債	2 .+0	千円											
		益者 の他	貝担	千円											
		般財	源	千円			0		0		0		12,002		18,060
	件費合 正規耶			千円			0		0		0		2, 268 2, 268		2, 268 2, 268
	人			人									0.3		0.3
	会計年度(· 2類)職員	千円			0		0		0		0		0
	人会計年限		(正) 開旨	<u>人</u> 衎											
	その作	也職員	1	千円											
「デシ	ブベー	ス松を	本」の	維持理日 窓口を過 上の観点	85から追	11とする ジタル流	る(アウ 5用促進	トリーチ 業務とち	チに注力す 刃分け、ホ	- る)。 ミームペ-	また、ホーム/ ージの構築運F	ページ 月を得	で で構築運用費が はいまでは である事業者	高額なため、 に別発注する	ランニン る。
			平価			-	W FF I		-\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		V 0 1 0 1 - 4:		. 7.1.		
	妥当性 V評価			事業の っている		谷、万问	仕寺かす	か日指	9 安を実	兄するた	:めのものにな	つ(し	ハるか		
			-												
[有効	性評価	i] 2	.事業	内容や	方向性が	想定する	成果や期	持する	効果に結び	びつくも	のになってい	るか			
一次	マ評価		B 想:	定する原	以果や効果	に結びて	つくもの	になって	ている						
		<u>i]</u> 3			や人的コニ	ストが適	正なもの	こになっ	ているか						
一次	マ評価		B な	っている	3										
【総合	計画														
評価	В														

사사사는 하고 사사 기

Ţ.	和 5年	支	事務事業評価表 (令和 4年度	継	か り	扮 事	·耒 <i>)</i>				
	事務事業	名	工業振興事業									
	担当所属		商工課					連	絡先		34-3270)
4	関連所属		甘未惟却【									
分			基本情報】 経済·産業									1
	型 本施策		<u>性別 </u>									
		6	経済・産業		予	中事	業名	工業振興費				
総合計画	∖ 基本施策_	6 –	2 ものづくり産業の活性化		算車							
置	i				事業							
事	業期間		~	会計種別	一般	会計		事美	業種別		その何	也
根	拠法令要綱											
_	域区分			施設種別				予算	享要求	区分	経常経費	
	事業概	要	・指標】									
	業概要						対象技	指標				
	旨・目的 市内中小製冶	業者	の活性化に資する各種支援施策	また 必要な負担金	: 及で	が補	1					
	金の交付をす				-//	, ,,,,	2					
						ŀ	活動技	指標				
内			0-1-5-11-0			ľ		ログ まつもと広域ものづくりフェ	ーーー r ア来	場者数	ī	
1	ビジネスタ		'ップ商談会 ·セ参加企業への支援(出展料負	当 扣)		ŀ	_			- W LI XX		
	※出展社数	39	00社 来場者数:14,553人	₹]=/			(2)	展示会への出展件数				
2	中小企業絲		1				3					
_	テクニカル	ショ	ウヨコハマへの出展補助				成果	指標				
	※出展社数	x :75	59社 来場者数:15,827人				1					
3	まつもと広	域も	のづくりフェアへの負担金				2					
4	松本機械金	属工	業会への運営費補助				3					
5	工業団地分	譲地	購入費、工場の新増設等に伴う	う建物・設備の固	定資		効率打	指標				
			化工事費、福利厚生施設建設費 flし、その一部または全部を補助		用す	る場	1					
	ロの貝旧付も	FICI天	」し、ての一即よたは土即を補助	7)		-	2					
[今後の方	向性	‡)									
	次評価(阝		_									
今	後の実施方向	唯	継続	前年度の結			継続			今往	後の見込み	
			催中止となっていた展示会や1 技術をPRする場は、中小企業者					古垺を継続したい			コス 削減 維持	
• j	産業創発支援	事業	にて販路拡大に係る補助制度を						- 15	上昇	月1/水 水土行	1 归八
る ₁	補助を継続的	記実	施						成果	維持	0	
_	\h===/# / F	1 +77-	/\							縮小		
	次評価(多	小 门	5 半1 四 <i>)</i>									
1))内容評価											
— <u>'</u>	年経過してい	ます	が、昨年度の評価も再確認いた -トの検討をお願いします(一	こだき、DxやGxを 郊、2)全後のこ	中心	シに"と	ごヨン	ッドコロナ"に対応した内容				
)指標の設定			叫、3/71友(/)	ניין ני	TIC	ン技型	2) 0	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
マ	ッチング、用	地確	『保や工場整備の支援は、インフ カムを設定してください。例え	プット(≒活動指えば、トラの独美	標)	の一 5円で	例とし	して問題ありませんが、ア				
			'オローアップ調査を実施し、J									
			については可能なはずです(出 トカムは、売上増や地域の生産									
3))今後の方向	性										
展	示会等の出展	支援	は否定しませんが、従来のよう									
U 1	企業として重	点支	全業を「一般支援」と「アド/ 接するなどです。動画を活用し	」たプロモーショ	ンム	ムービ	一を住	作成する、AR.VRを活用した				
デ	モ空間も用意	する	、AI活用などによる顧客対応と	≤分析の導入なと	支援	爰をす	るなど	ど・・・。やる気のある、優れ				
	耿組をするト します。	・ツノ	『ピークを伸ばす支援があった』	L C、 ノオローと	. 615	ノ愛九	侧仏	で す耒 を設計りることを推				

V10 JW		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕拍悰	2								
活動指標	1	人	開催中止	2, 250	2, 170	2, 200	2,500	R7	87%
	2	件	5	4	9	10	10	R7	90%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1						·		#DIV/0!
劝华伯悰	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

<u></u>			人貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> -</u>	タルコスト	千円	15, 244		138,077		108, 710		106, 669		29,646
事	業費	千円	14, 488		137, 321		107, 954		105, 913		28,890
	国庫支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	地方債	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	"" その他	千円									
	一般財源	千円	14, 488		137, 321		107, 954		105, 913		28,890
人	件費合計	千円	756		756		756		756		756
	正規職員	千円	756		756		756		756		756
	人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

企業立地助成金の補助対象企業の減少

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか 一次評価 B なっている

[有効性評価] 2.事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	【総合評価】											
評価	В											

ITTH J													
事務事業		地場産業振興事業	E										
担当所属		商工課							格先		34-32	70	
関連所属		+k= +n1											
		基本情報】											
分野 ************************************		経済・産業	ハエルル										
基本施策 総 分野		2 ものづくり産業の 経済・産業	ツ活性化		~	山車業	ター	地場産業振興費					
総 <mark>分野 基本施策 計 画</mark>		<u> 在海・座来</u> 2 ものづくり産業の	N活性化		予算	中争未1		地 物性未抵映貝					
計			<u> УПТТ</u>		事		+						
画					業								
事業期間		~	会計種	別	一般	会計		事業	種別		その	の他	
根拠法令要綱													
地域区分		lla lee	施設種	別				予算	要求	区分	経常経費		
【事業 概		・指標】											
事業概要						対象	淮	標					
<u>趣旨・目的</u> 物辛尿等の	ㅁ/맛 ㅆ	山田笠にもて地田立「	ᄀᄭᄄᅃᄔᆣᆠᅭᅘ	ᅺ	« <u>ተ</u>								
		出展等による地場産品 、伝統産業の技術を約				- 1.1							
地場産業の振り	見を図	ころもの	四子(この文章)	107 H 126 7	rico	2							
						活重	掂	i標					
<u>内容</u> 1 <i>± のづ</i> てい	<u> </u>	₽₩				1	1	イベント参加・主催数					
1 ものづくり (1) 地元イ/		_{更悪} ・や県外物産展等の開係	第一出展及が事業	きょう とり きょうしょう はいしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう しゅうしょう はいしょう しゅうしゅう しゅうしゃく はんしゃく しゅうしゃく はんしゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゃく しゅうしゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく	4 支援			15 data - 15 dat					
		成による後継者の確保					移	後継者育成助成件数					
周知し、乳	里解を	深めるための事業の影響				3							
(3) その他の							7+5	5 ∔⊞					
ア 松本。	く1 − 5目⊤	·ツ開発・普及事業 :芸協同組合				成果	₹ † Ē	1保					
		興協同組合 ほか				1							
イベニ	ノトの	後援、PR支援等				2							
県外物産展出	比展回	数 4回(藤沢、福岡	、名古屋、町田))									
2 イベント開	催					3							
		!につながるイベントの	の実施。			効率	~指	i 標					
新型コロフ	トウイ	ルス感染症拡大の影響		の中止		1							
・信州・村	公本そ	·ば祭り(10月)				•							
3 その他						2							
	~での	販売を行ったが、在園	車管理や配送等 <i>の</i>	事業者対	応か	難 —							
しく、現在に	お出ま	·休止中。											
【今後の方	后 水	£1											
一次評価(「		_											
今後の実施方向			前	丁年度の 紀	里	継続				今往	後の見込み	4	
		展開催の要望は一定数					<u></u>			/ I		スト	
・首都圏におり	ナる物	産展は二子玉川開催る						き実施。販売のみではな	`		削減維		大
い、新たな形で			*********		-155 0	#/ / IA=		· -	4	上昇	100		\overline{C}
		研究し、既存の支援st 市のSNSで周知を行い								維持			
			、参加省にアプ	7-12	大心(J (3N3/.	ر- ۱۰۰)の参加学で来す。		縮小			
二次評価(外部	<u> </u>											
1 \ 古索亚压													
1)内容評価	=. ⊒\π አታ	ア糸老にしてくださし	、 かお	ノベント	、ブロ	·皕安届+	が压	記定化されますので、従来					
								木工×金属加工など比較					
は価値の差違い	こ気つ	きやすく、融合は新信	価値を生み出すき	っかけと	なり	ます。事	業	著同士での恒常的な異分	\ \ \				
野交流なども ご	女めて	「検討頂くと後述のリフ 「ニスンを#!! スコンは#	ブランディングに	つながる	可能	性が高ま	ミり)ます。従来施策・事業を					
		-フインを描くことは類 :挑戦してください。	誰しいため、新分	丁野剧出()	が性学	を高める	D ((失敗は行政が吸収するこ					
こに思いかめる2)指標の設定		いりシュハアン O 水+uct.											
工業振興事業の	り評価							f標を設定してください。					
		。 ックモデルやエビデン	ソスベースで設計	け、妥当な	详目標	値設定を	きま	3願いします。					
3) 今後の方向		です 古知広/古知古	の の 取 织 、 恭 二 久 え	かどでに	終一 =	生笙のロ	. –	ブランディングの取組が盛					
								/フラティブグの取組が盛 ¢討ください。ただし、支					
援事業は全員な	と対象	にするのではなく、ヤ	やる気のある方に	限定して	実施	するなと		本方針を「全員で底上					
げ」から「ト	ップヒ	ークを伸ばす」に切り	り替えて頂くこと	を強く推	軽し しょうしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かい	ます。							

	【月日 1示 ○2 月日 1夕】												
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度				
対象指標	1												
2013年1日1示	2												
	1	件/年	0	4	4	7	7	R6	57%				
活動指標	2	件/年	2	2	0	0	2	R6	0%				
	3								#DIV/0!				
	1								#DIV/0!				
成果指標	2								#DIV/0!				
	3								#DIV/0!				
効率指標	1								#DIV/0!				
劝学伯倧	2								#DIV/0!				
バイエルドエット	A4 1 1 1 /	14.1 ± 7m = L	·					•					

活動指標の増減維持理由 R2年度〜R4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になったイベントがあったが、R5年度以降は通常実施が見込まれるため。 後継者育成助成は、予算を確保し事業者に定期的に案内を送付しているが、対象となる後継者がいないため、助成件数は減少している。

成果指標の増減維持理由

7 †ル ス

<u> </u>	1人 L 人 タ		人 貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
\ -	タルコスト	千円	50,033		14, 244		15, 491		8,073		22,824
事	業費	千円	43, 541		10,320		8, 699		4, 749		19,500
	国庫支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	地方債	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	43, 541		10,320		8, 699		4, 749		19,500
人	、件費合計	千円	6, 492		3,924		6, 792		3, 324		3, 324
	正規職員	千円	5, 292		3,024		5, 292		3,024		3,024
	人員	人	0.7		0.4		0.7		0.4		0.4
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	1,200		900		1,500		300		300
	人員	人	0.4		0.3		0.5		0.1		0.1
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

クラフトの街推進事業として、R4年度からクラフトフェアの負担金が地場産業振興事業から抜けたため。 首都圏の物産展会場が二子玉川に変更になったことに伴い委託料が増加したものの、R4年度から予算は減少している。R4年度は中止になったそば祭りがR5年度は開催予定のため予算が大幅に増加したようにみえるもの。

【事業の証価】

一次評価

		јш ∡					
[目的妥当性詞	平価]	1. 事業の目的、	内容、方向性等点	が市の目指す姿を実現す	するためのものになっ	ているか	
一次評価	В	なっている					
[有効性評価]	2.	事業内容や方向性	±が想定する成果₹	や期待する効果に結びて	つくものになっている	か	

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

【総	:合評価】		
評価	В		

下的 3 中反 事份事未計恤衣 (下的 4 中反	不 企亦	沉 丁	/万一	未 <i>)</i> ——————				
事務事業名 脱炭素型大規模投資支援事業								
担当所属 荷工課					連絡	先	34-327	0
関連所属								
【事務事業基本情報】								
分野 6 経済・産業								
基本施策 6-2 ものづくり産業の活性化			- VIL /-	"				
総 分野 6 経済・産業 *** ********************************	予	中事	業名	脱炭素型大規模投資	支援事業	.費		
総 分野 6 経済・産業 合 基本施策 6 - 2 ものづくり産業の活性化 計 画	算車							
面	事業							
	-	 会計			事業種	≨ ₽II	政策的	市攻
以 大古 的是表刑士担 措 也咨古经吏类满助仝六仕更纲		云可			争未性	里万!	以來四	争猕
根拠法令要綱 松本市脱炭素型大規模投資支援事業審査会設置要綱								
地域区分	<u> </u>				予算到	要求区分	政策的経費	事
【事業概要・指標】					J' <i>开ゝ</i>	マグロン	マエルバトメングル	₹
			- 1-6-1	P.1#				
事業概要			対象指	旨標				
<u>趣旨・目的</u> 松本市の企業におけるゼロカーボンに向けた取組みを加速するこ	- レメ		1					ļ
松本市の企業にありるゼロカーホンに向けた取組みを加速すると 的に、市内で脱炭素社会に資する製品やサービス等を生み出すため			\vdash					
両に、「PMで航灰系社会に負する袋品です」とス等を主が出すため 模投資を行う企業を支援し、ゼロカーボン産業の集積を目指すもの	フロンノ、 ハ	八九	2					
	,	ļ		レ! 표				
内容			活動指	旨 標				
1 ゼロカーボン産業の定義		.	① 凡	脱炭素型大規模投資支	援事業補	制金によ	よる支援件数	攵
国の「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦 定める成長が期待される14分野に該当するもので、脱炭素化に	郷」 こ向に	に けた						
課題解決につながる製品の開発・製造又はサービスの開発を行う)事業	Ę	2					
2 補助対象(次のすべてを満たす事業)			3					
■ ・市内でゼロカーボン産業に取り組むため、工場、研究施設等建 ・市内でゼロカーボン産業に取り組むため、工場、研究施設等建	≢物σ	新	_	K1#				
┃ ・増・移設や、機械、装置、器具、備品、工具、建物付属設備	煮、ソ	ブラー	成果指	百 倧				
トウェア等償却資産の取得を行う事業者	-	ļ	1 1	補助金活用による事業	化件数			
・投資額が3億円以上の事業		ļ	+					
・市内に事業所を有することまたは設置予定であること			2					
・10年以上継続してゼロカーボン産業に取り組むこと		ļ	+					
3 補助内容			3					
補助率:投資額の3%以内の補助金額:上限3,000万円			効率指	旨標				
			1)					
			$\overset{\circ}{\longmapsto}$					
			2					
		ļ						
		ļ						
【今後の方向性】	_							
一次評価(内部評価)								
今後の実施方向性 継続 前年度の総	課					今	後の見込み	
・今年度新規事業としてスタートし、申請1件について交付決定す	するな						コス	
・事業の規模や分野等の面から案件が限定されるため、取り組む企	P業の	D確保	が課題	題となるが、本制度を	きっ		削減 維持	1 増大
かけに市内企業の取組推進、市外企業の誘致を目指し周知を行い、	松本	京市の	ゼロナ	カーボン推進を図る		上昇	. 0	
						成維持		
						編小		
二次評価(外部評価)								
1)内容評価								
分野や条件を設定し、リーディング企業の発掘やトップピークを伸 (※他の事業も同様にトップとフォロー(ベース)支援の視点で事	月ばす 耳業記	「投資 S計を	.事業と .して]	こして高く評価をしま gきたい)。	: ਰ 			
2) 指標の設定								
支援件数は活動指標に相当しますが、難易度の高い事業であるため								
その場合は、エントリー企業を発掘するためのフォーラムやセミナ								
を増やすことを活動指標とし、補助事業へのエントリー企業獲得か								
して事業化が成果指標2(アウトカム)となるロジックモデルを設; 成果指標3として脱炭素への貢献(e.g.従来の炭素排出量の○%)な								
队未拍标3〜0〜1沈火糸へい貝臥(ピタ゚1に木い火米カチト山里いしハノ゚で くださし	۲۲ ر		山木1	りの注意的ですので	作民首以			
ください。 3)今後の方向性								
G(Green)・S(Sustainability)へのトランスフォームは、ESG経								
提) へと変化をします。サプライチェーンに、LCA(Life Cycle A	ssesi	ment))が組	み込まれ、サステナビ	ビリ			
ティ・チェーンへと変遷しますので、材料調達や製造工程における: る企業を優先的に支援し、地域・業界をリードすることを支援する:					哉のあ			
1の止手を増加いして伝し、地域・手ををリートすることを又伝する:	事未 1	で作用す	41×70	. ι' Ι				

【指煙の推移】

	0)	単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
		丰田	1、2十尺大帜	1 3 十 区 大 傾	1 4十尺大順	NJ午及无处	口你但	口你十尺	连拟反
対象指標	1								
からしている。	2								
	1	件/年	-	-	1	1	1	R9	100%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	件/年	-	-	0	1	1	R9	0%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
活動 と 煙の !	生	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #							

活動指標の増減維持理由 大規模投資事業であり多くの企業が取り組むことは想定できないため、年1件で設定

成果指標の増減維持理由

支援企業と同様。支援対象はすべて事業化するものと見込む。ただし、規模が大きく年度またぎの事業が多くなるものと考えられるため、 成果が表れる時期を支援時(活動指標設定時)から遅らせたもの

【 <u>书</u>	えんコスト	` • ,	人員】					
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	0	0		0	761	30, 876
事	業費	千円					5	30, 120
	上 国庫支出金	千円						
	特原支出金地方債	千円						
	地方債	千円						
	海 文金百只担	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	0	0		0	5	30, 120
人	、件費合計	千円	0	0		0	756	756
	正規職員	千円	0	0		0	756	756
	人員	人					0.1	0.1
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0	0	0
	人員	人						
	会計年度(3類)職員	千円		_				
	その他職員	千円						

トータルコストの増減維持理由

補助金分の予算については、具体的案件があった段階で補正対応するため、実質的には現状維持となるもの

【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 A 市の目指す姿に大きく貢献する事業

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	洽評価)		
評価	В		

令和 5年	艾 事務事業	評価表	(令和 4年	皮継	統事	孩事	· 美)					
事務事業名	名 産業創発支 担	援事業										
担当所属	商工課							連	洛先	34-	3270	
関連所属	_											
	業基本情	報】										
分野 基本施策	6 経済・産業 6-2 ものづくり	1産業の活性化										
総分野	6 経済・産業	/ 生来り/61年16		予	中事	業名	産業創発支援事業費					
	6-2 ものづくり	ノ産業の活性化		算		->/-						
計				事業								
画	R4 ∼		△⇒★□□					古光	(手口)	JA	华协市	マケ
事業期間	IN-T	#化支援事業助	会計種別成金交付要綱		设会計 市製造		反路拡大支援事業補助		種別 要綱	以	策的事	粉
根拠法令要綱	松本市製造業等人材	有成事業補助:	金交付要網	14.4.	1340	W [) W	从四加入人人及于不同的	120	X11171			
地域区分	_		施設種別	_				予算	要求区分	政策的	勺経費	
【事業概	要・指標】											
事業概要						対象指	旨標					
<u>趣旨・目的</u> 平成30年に策	。 とこと 「松本市工業	業ビジョン」(1	計画期間:平成	龙30年	~	1						
令和9年)に基づ	づき、重点産業の推	進や新製品開発	è、販路拡大等	の支援	<u> </u>	2						
ICTの活用推 の活性化を目指	ŧ進等により、産業創 €オキの	創発力の向上や	生産性の向上等	等、製	造業	活動打	旨標					
	39 007					1) #	製造業等活性化支援件					
												
<u>内容</u> 1 工業ビジョ	コン推進(松本ものつ	づくり産業支援	ヤンター)			⊘ ‡	製造業等販路拡大支援	打十致				
松本市工業	ミビジョンに掲げる重	 直点産業(食料	品製造業、高原			3						
│ 機械分野)の │ が連携して取)推進に、松本ものつ 7.1.細むもの	づくり産業支援	センターを中心	心に産!	学官	成果指						
7.年350でか	メッル中の のの					1	補助金活用による事業	化、製	品化件数			
	に経産省の支援を受					2 7	浦助金活用による国内	外への	販路拡大	企業数		
下和3年及Ⅰ	に関東経済産業局と	建捞励止を輸輸	□ U 合性争来で	天心		3						
	に				·=:\	効率抗						
(1) 松本市製 (2) 松木市製	U造業等活性化支援事 U造業等販路拡大支援	₿業(新製品・ 軽事業 <i>(</i> 展示会	技術の開発等/・日本市への!	への支 4.展支	援 <i>)</i> 淫)	(T)	日1示					
(3) 松本市製	製造業等人材育成支援	g事業 (股外公 援事業 (経営力)	強化、技術力阿	可上等 句上等	ア カ	_						
人材育成支	泛援)					2						
3 ICT活用地 ^は	域産業振興事業(サ	ザンガク)										
イノベーシ	/ョン創出・人材育成	找等 のためのセ		トの開	催、							
企業のII人材	才育成・IT活用支援、	企業・人材誘										
【今後の方												
一次評価(7												
今後の実施方向	1性 継続		前年度の	の結果						今後の見	込み	
	€については国の支援 ∂野は、研究会がスタ			左 L か.	₩ ₩ ₩						コスト	
							必要と認識している。)	上	_	維持	瑁 天
・市による各種							業創発力の更なる向上		成業			
図っていく。									未 縮/			
二次評価(タ	<u> 外部評価)</u>											
1)内容評価												
昨年度も記載を							ら願いします。現在 <i>の</i>					
							クラスターを形成す					
糸も必安ですが さい。	い、ソフスターをテリ	11 フして安糸	で月 (つ 開助 =	ままし	めるい	は又が	爰カテゴリー)を検討	\ / c	\			
2) 指標の設定		ヒルエンイエンレー	,_ <u>+~</u> , , <u>+</u> -	шел				40.1	\			
							兄を成果指標に設定さ と件数等は、実数より					
合等(事業化/	支援)の方がコント	ロールしやすい	いと考えますの	でご核	討く	ぎさい		CEI				
 3) 今後の方向 		ナが 古・セツ	≡ (╆╨┸/ /	hï→- ·	+>	, , , , - , ,	リーダーシップを持 [・]	— 宋t				
							リーターンッフを持 が、事業の推進力・実					
達成力が高いと	:感じます。一例は、	昨年度も少し	書きましたが、	世界	的に関	心が高	高く、人にとって最も	重要				
							度で最低ランクです〕 ますが、そのためには					
	プログラミング、新							· 				

710 JV	<u> </u>	リエコン』		D 2左座中海	D. 4年度由待		D.1#/#	口压左应	\+ \-
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入13人1日1示	2								
活動指標	1	件/年	1	4	6	6	4	R9	150%
	2	件/年	0	3	14	20	30	R9	47%
	3								#DIV/0!
	1	件/年	1	3	3	5	3	R9	100%
成果指標	2	件/年	0	3	10	15	20	R9	50%
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
イギギギャ	14 \ L\	#1+ TM							

活動指標の増減維持理由 令和2年度〜3年度は、コロナ禍により販路拡大に係る展示会・商談会が激減したため、補助実績が低調であったが、4年度は回復傾向がみ られ、来年度以降開催数、出展数ともコロナ禍以前の状況に戻るものと考えられる。

成果指標の増減維持理由

補助を契機に、主に重点分野で新技術や新製品の開発が加速した。

【投入コスト・人員】

<u></u> [1	1 人 L 人 対		人貝】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
 -	-タルコスト	千円	363, 158	105, 065	91, 281	109, 254	114, 110
=	事業費	千円	345,650	92, 993	80, 121	98, 094	102,950
	」 国庫支出金	千円	143, 120	24, 724	11,070	4, 774	0
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
	地方債	千円					
	^別 受益者負担	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	202,530	68, 269	69, 051	93, 320	102,950
	人件費合計	千円	17, 508	12, 072	11, 160	11, 160	11, 160
	正規職員	千円	13,608	9,072	7,560	7,560	7,560
	人員	人	1.8	1.2	1.0	1.0	1.0
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	3,900	3,000	3,600	3,600	3,600
	人員	人	1.3	1.0	1. 2	1.2	1.2
	会計年度(3類)職員	千円					
	その他職員	千円					
 -	-タルコストの増減	維持理由					

【事業の評価】

[目的妥当性評	[価]	1. 事業の目的、	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
	D	かっていて			

一次評価 | B |なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

A 想定以上の成果や効果に結びつくものになっている 一次評価

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

令和 5年度	事務事業評価表((令和 4年度	継続事	務事	業) —————			
事務事業名	ものづくり人材育成事業							
担当所属	労政課					絡先	35-	6286
関連所属								
	基本情報】							
分野 6	経済・産業							
	- 2 ものづくり産業の活性化		1	一业力				
	経済・産業			事業 名	ものづくり人材育成事業費			
合基本施策 6-	- 2 ものづくり産業の活性化		算					
画			│ 					
事業期間	~	会計種別	一般会計	-	事業	· 種別	-	その他
根拠法令要綱		Д П 1	13A			リエル。		C 47 C
地域区分		施設種別				要求区分	} 経常経	S 費
【事業概要	・指標】	ガロサイコニック	1			- X-J	J 1944	
事業概要	<u>1</u> □ I/V.2			対象	指標			
趣旨・目的				(1)	IHIM			
平成24年に松本市	市で開催された技能五輪全国大会	会を契機に、次作	弋に繋が					
る人材育成施策とし	ンて、市内の学校、企業、労働E 若年者の人材育成や地元への記	団体及び行政等(で構成す	2				ļ
る連絡会を設立し、 の	若牛者の人材育成や地兀へいた	抗職、正有で又17	发するも	活動	指標			
内容					 進路情報誌の発行部数			
1 松本市ものづ	くり人材育成連絡会の開催							
│ 年2回開催([↑] │2 出前講座	市内商工関係者、中·高·大学関	I係者、関係公共	.団体寺)		技能五輪全国大会出場者数			
市内の小学生	を対象に角材で椅子を製作	~ #ul /L			就職した高校生の市内企業へ	、の就職率 	<u> </u>	
	中学生が体験!松本の『ものづ 年生の職場体験学習での感想や			成果	指標			
内容等を編集し	た冊子を市内全生徒に配布	′安リ人1 炬来で	り しん	1				I
4 ものづくりフ	ェアの共催、体験ブース出展			2				
ものづくりフ	ェアを実行委員会と共催	こさくロイニシバ	- 1					
(R4年度はフェ 5 長野県松本技	ェアは休止。本事業にかかるもの 術専門校の技能奉仕活動の支援	刀づくりナフン∪ ≟	りみ配布ノ	3				
長野県松本技術	術専門校の学生が実施する技能	(奉仕活動の材料	費の補助	効率	指標			
等による支援(松本駅前記念公園のベンチ補修			1				
	大会出場者への支援 成に要する経費の補助金支援を	==施		2				
7 企業見学会			· · =					
	力いただき、就職を希望する市 会を実施(コロナ禍の期間は中		生等を					
刈豕に止来元丁.	云を美肔(コロノ恫Ⅵ朔间ιぁ⊹	(正)						
【今後の方向性	生 1							
一次評価(内部	_							
一次評価(内部 今後の実施方向性	F 1 11 17	前年度の紹	注里	継続		T .	今後の見	ن م ۲۲
ものづくり分野の	の職業を目指す若者は減少傾向に	にあり、このまま	までは技能	もの継ば				コスト
の持続的発展に影響	響を及ぼすことが懸念される。 拄	技能尊重、若者な	が職人を目	目指する	社会を作っていくことの一			維持 増大
助となるよう、これ	ιから就職していく中・高生に、	、技能職を中心と	こした職業	美・就	業について情報提供し、特	成	昇	
に身近に感していた	こだけるよう体験的な情報発信!	こ努の(いへ。				里 祚1		
							Jv.	
二次評価(外部	評価)							
1 \ 内京部庸								
1)内容評価 昨年度から事業内容	字の変更点がありませんが、一7	ちで指標等も特に	ニ伷がてし	\る訳 [·]	でけなりません。技能継承			
のあり方について若	告者と感覚・意識のズレがある可							
(詳細は3) 今後の			•		· F -— -			
 2)指標の設定 昨年度外部評価にま 	基づき、事業マネジメント強化に	ニナルナア活動指刺	亜丸泊加が	可いた。	上け部体をいたしますが	\		
	きつさ、事業マインメフト強化に ください。①進路情報誌の発行語							
子の善し悪しで増減	載もしない指標です。活動(ア <i>?</i>	クティビティ)指	指標として	こは、1	例えば冊子での紹介企業数			
	などを設定することが望ましいと 男で増減するからば、世界と舞り							
	果で増減するならば、成果指標と Dで成果指標に設定すべきと考え							
等イベント参加者に	こおける関心度、満足度(可能な							
で事業内容の見直し		-						
3) 今後の方向性 従来の技能・人のま	手による作業が是で、ともすれば	デー 思ふんがたいき	生女 か 新し	八壬	辻が北レいる歴生が前提に			
	ドによるアト素が定で、こむタイル。 うではなくハイブリッドや人から							
	みてはどうでしょうか。							

	<u> </u>	J圧 リグ J							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水1日宗	2								
	1	₩	8, 200	7, 200	7,000	7, 200	7,200	R7	97%
活動指標	2	人	2	5	3	4	4	R7	75%
	3	%	54	49	49	50	50	R7	97%
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
热索华堙	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
とままと 挿 クー	よごよぐ	#++TO							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

/+ル 1 コ フ

	(投	<u> : 人 コ スト</u>	· • .	人員】								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
7	<u>ーク</u>	タルコスト	千円	4, 541		4, 378		4, 192		4, 137		4,572
	事	業費	千円	1, 673		1,510		1, 324		1,425		1,860
		」 国庫支出金	千円									
		特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
		地方債	千円									
		源 受益者負担	千円									
		*** その他	千円									
		一般財源	千円	1,673		1,510		1, 324		1,425		1,860
	人	件費合計	千円	2,868		2,868		2,868		2,712		2,712
		正規職員	千円	2, 268		2, 268		2, 268		1,512		1,512
		人員	人	0.3		0.3		0.3		0.2		0.2
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	600		600		600		1,200		1,200
		人員	人	0.2		0.2		0.2		0.4		0.4
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
1	<	フルコストの増減	維持理は]	<u> </u>							

トーダルコストの瑁減維持埋田

【事業の評価】

[目的妥当性評価]	1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価 B	なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 │ C │概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	:合評価】		
評価	В		

中 你往事必事来 /

क्त	1 5年	支	事務事業:	洋仙衣	(口和	4年度	心心	冗 事 7	分手	*未丿							
事	務事業	名	企業事務所等	手誘致事 第	¥												
	担当所属		商工課									連	絡先		34-3	3270	
「 重	関連所属		基本情	妇													
分野			全 中 旧 = 経済・産業	FIX 』													
基本的		6 -	・3 雇用対策と	:働き方改革	が推進												
総合	分野 基本施策		経済・産業 ・3 雇用対策と	・働きちみは	の推進		予算	中事	業名	企業事	務所等認	 致事業費					
計	至不加。		3 准川州水と		=07]正定		事										
画	+088		117		∆ = 1∓		業	. ∧ = I				1=4	W1401		-	7 A /Ib	
事業排		10. 1	H6 ~		会計種	•	一般	会計				争	業種別		_	その他_	
	去令要綱	松本	市企業事務所誘	致事業補助													
地域区		755	12 1年1		施設種	別						予算	算要求	区分	経常経	費	
↓ 事業権	事業 概	安	・指標】					R	/(多:	指標							
趣旨	・目的								$\overline{\Box}$	1117							
			『業所を設置する)発展を図る	ことに対す	「る支援を行	い、雇用	機会	の	1)								
地下	又U地場形	± <i>i</i> FIV.	/						2								
内容								}	舌動 :	指標							
1 1			本事業補助金						1 :	企業事務	 §所等誘致	数事業補助金	金交付金	件数			
	補助対象 ア 東京、 いる企業	大阪	ī、名古屋証券耶	別所並びに	新興市場に	株式を上	:場し	,T	2								
	イ 上記金	≥業 <i>0</i> .)関連企業 ((1) <i>0</i>						3								
	フ 東京、 できる企		え、名古屋の各証	L券取引所立	位びに新興市	場に株式	を上	_~///		比無							
	補助対象	2経費	費及び補助額						T	指標	T-L 11 11/L						
•	ア 取得 <i>の</i> 事務所		ī g後3年分の固定	≧資産税(±	_地、建物)	相当額			1)	事業所認	数件数						
			前地の場合は5年 , 000万円/						2								
	(中心 イ 賃貸の	が市往	が地の場合は、4	年目以降に	は600万円]/年)			3								
	事務所	開設	後3年分の賃借		2相当額			3	办率	指標							
	限度額	<u> 8</u>	団地の場合は5年 300万円/年	,					1								
	(中心	が市往	があ場合は、4	- 年目以降に	\$400万円]/年)		-									
									2								
	<i>'</i>	, .															
	後の方		_														
	(評価(P の実施方向				前	年度の結	果	継	続					今	後の見え	入み	
・現る	生は継続分	}2件(のみであるが、		は一定数あっ		171	111	170						-	コスト	
・今行	後も積極的	J(CPI	?し、松本市へ <i>の</i>)誘致を図る	5										削減	維持	増大
													成果	上昇 維持		0	
_,,	,= ,,, 	네 수요	= 										木	縮小			
次	(評価(タ	小部	5半1曲 <i>)</i>														
移転			│ ÷場合にのみ事業 ミす。しかし、現														
变化、	サステナ	ピリ	、g。 しかし、g Jティ等価値観の ぶ必要と考えます)変化などを	考慮すれば	1、 昨年度	とは	ば同れ	鎌の!				\				
現事	業内容にお	ゔいて ゠゙゙ザィ	「補助金交付件 ′ン(戦略仮説)	÷数」→「事	『業所誘致件	数(定着	[(はロ:	ブツ	クの骨子	- ですが、	上記記載					
海外 ⁻ れて(では人依存 ハますが・	字の作 ・・)。	業がどんどん源 。もちろんエッ	センシャル	ワークを始め	め、人にん	衣存	する事	業も	ありま	すが、エ	場誘致して					
も人は	はいない、 確保)とい	とし 1う考	Nうのが起こり始 え方は、未来を	がないます 見越して複	ト。従来のよ 見点の切り替	くうに何で なんが必要	も事 です	業所で で。もし	を設 し、 :	置して地 本事業を	地域雇用 当面継続	(工場作業 売するので					
あれば、別事業ではありますが、脱炭素大型投資への支援のように松本市。 る、支援額にグラデーションをつけるなど、支援事業の魅力を再度設計、																	
	あると考え																

	<u> </u>]圧 7グ』							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水扣 标	2								
	1	件/年	3	2	2	3	3	R7	67%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	件/累計	30	30	30	31	33	R7	91%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
が守行信	2								#DIV/0!
にままと 挿 のす	47.14	#++TID		·		·	·		

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

	【投	: 入 コ ス ト	• .	人員】								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	<u>ー</u> 5	7ルコスト	千円	10,056		9,815		7,829		6,324		3,540
	事	業費	千円	9,300		9,059		7, 073		5,568		2, 784
		国庫支出金	千円									
		特県支出金	千円									
		田川地川頂	千円									
		源 文金百貝担	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	9,300		9,059		7,073		5,568		2, 784
	人	件費合計	千円	756		756		756		756		756
		正規職員	千円	756		756		756		756		756
		人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
		人員	人			·						
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
L	_ /:	7川コフトの増減	准井田									

トータルコストの増減維持理由

【事業の評価】

[目的妥当性評価]	1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価 B	なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 │ B │想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

J	小口 つハり	又	争伤争未许仙	112 (744年1月	2 小性	ייניו	力力士	** /				
Į	事務事業很	\$	テレワーク事務所	听設置支持	爰事業								
_	担当所属		商工課							連絡先		34-32	70
+	関連所属		甘木桂却】										
分里			基本情報】										
	施策		3 雇用対策と働き	方改革の推	 進								
	分野		経済・産業			予	中事	業名	テレワーク事務所設	置支援事業費	Ì		
総合計	基本施策	6 –	3 雇用対策と働き	方改革の推	<u>進</u>	算事							
崮						業							
事美	美期間		H28 ∼		会計種別	一般	会計			事業種別		政策的	り事務
根挑	心法令要綱	松本	市テレワークオフィ	ス設置支援	事業補助金交付	寸要網	到						
	域区分				施設種別					予算要求[区分	政策的経	費
		要	・指標】										
	それ要 これの							対象:	指標				
	<u>・目的</u> C業等が本社	等の)業務をテレワークに	より行うサ	テライトオフ・	ィスの	D開	1					
			り、雇用機会の確保					2					
	=							活動	指標				
内2 1	テレワーク		リィス設置支援事業補.	助金				1	テレワークオフィス詞	设置支援事業裕	甫助金	の交付件	数
		テラ	イトオフィスを開設	する法人				2	サテライトオフィス等	等の開設件数			
(2			及び補助額 つィスの賃借料	1/2以内	限度額10万円	1/月		3					
	・サテライ	` トオ	フィスの改修費用	1/2以内	限度額200万	円		成果	均 棒				
	・備品購入	、費用		1/2以内	限度額20万円 ※上記合算200	う ファロ	まで	1]日1示				
					<u> м ты п жем</u>	,,,,,,	0, (\odot					
								2					
								3					
								効率:	指標				
								1					
								2					
[今後の方	向性	<u></u>										
	次評価(ア												
	後の実施方向 トケーロー		継続 規利用があった		前年度の経	結果	糸	迷続			今往	後の見込∂	
				な働き方が	浸透し、今後:	もこの	り状況	が続	くと予想されることだ	115.		削減 維	スト 持 増大
積極	極的に制度を かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	PRU	サテライトオフィス	誘致を図る							上昇	133#74	33 17 (
										里	維持)
<u> </u>	次評価(タ	小部	平価)								縮小		
		ı His	<u> 1 јич / </u>				T						
	内容評価	100-2	· ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7 ()"	'+ヾ+ フ\ +ヽこ !	♣ =	두 싸 샤	5 00 +4	のナニわから注 L 祭言	7±±			
									象をこれから法人登記 る「起業」側面もカバ				
よう	うにお願いし	ょす	。また、既に開設し	ているコワ	ーキング等の「	リノ/	ベーシ	ョン	なども対象にすること	∠で"事 【 `			
えき	きす。		ト光りが手来 ぐるかい	()1):	ノノドと又抜り	の間	旧巴尼川	山 丁 茅	巻として位置づけられ	3C5			
現事	指標の設定 事業内容によ	いて	、交付件数→開設件	数は、事業	ロジック的に	矛盾に 単準	よあり	ませ	んが、社会的ニーズや	9松本			
3)	今後の方向]性	(R7年度0) が妥当で										
									で鮮度が下がる(いい ロア等を市が本事業i				
なっ	って積極的に	活用]し、商業施設とオフ	ィスの複合	利用などフラ	グシッ	ップ事	業を	検討ください。テレワ	フーク			
では	まありません								きます。また、テレワ 大することは可能では				
でし	ノようか。												

	U)	J圧 121							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水扣 标	2								
	1	件/年	4	1	2	2	2	R7	100%
活動指標	2	社/累計	11	12	14	16	20	R7	70%
	3								#DIV/0!
	1								#DIV/0!
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝举怕惊	2								#DIV/0!
:エチャド・挿 ク・	化学公	#++TEI+					-		

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「払うコフト

	<u>投</u>	人し人し	• •	人 負】					
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
 -	ーク	'ルコスト	千円	1,472	2,518		1, 385	1, 443	4, 756
	事	業費	千円	716	1,762		629	687	4, 000
		国庫支出金	千円						
		特 県支出金	千円						
		地方債	千円						
		特定 地方債 受益者負担	千円						
		~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	千円						
		一般財源	千円	716	1,762		629	687	4,000
	人	牛費合計	千円	756	756		756	756	756
		正規職員	千円	756	756		756	756	756
		人員	人	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0		0	0	0
		人員	人						
		会計年度(3類)職員	千円						
		その他職員	千円						
<b> </b> -	_ く	ルコストの増減	維持理は				·	<u> </u>	

トータルコストの増減維持理由

#### 【事業の評価】

[目的妥当性詞	平価]	1. 事業の目的、「	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	D	かっていて		

一次評価 B なっている

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 │ B │ 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

٦٦٠	M 3 <del>4</del> 1	又	于仍为	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	<b>Щ1</b> Х	( TPM 4 <del>4 </del> B	又小心	小りじ <del>ゴ</del>	イカラ	→未 /	)					
事	事務事業名	名		地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業												
_	担当所属		労政課	労政課									先	35-	6286	
関連所属		<u> </u> : 甘 木	基 本 情 報】													
分野			: <del>昼</del>													
	施策			未 対策と働き	方改革の	 推進										
_										1 地垣	成就職氷河期世代云	支援加速	化交付金	金事業		
合品	基本施策	6 -	- 3 雇用	対策と働き	方改革の	推進	算									
総合計画							事業									
	期間		R 4	~	R 6	会計種別		<b>L</b> 安会計				事業種	重別	政	策的事	務
	法令要綱		-													372
	区分					施設種別						予算	要求区分	政策的	勺経費	
	事業 概	要	・指	標】												
	概要								対象	指標						
	<u>・目的</u> ブル経済崩	计模符	4の雇用環	暗が厳しし	\概ね1993	年~2004年に学	检查	業期	1							
を迎	えた就職氷	<b>以河其</b>	月世代の方	は、就職が	バ不利な状	況にあり就労や	労働	こつ								
	の悩みを抱 支援を行う			多いと思わ	)れるため	、国の交付金を	:活用し	して	2							
小レンコ	又1友でコ」ノ	)	,						活動	指標						
<u>内容</u> 1	就職氷河		せ代実態調						1	相談作	牛数					
	ため調査	を行	テうもの			象世代の実態を			2							
	の前後の	つ世代	₹ (24,800	名)から無	<b>無作為抽出</b>	象世代(52,500 した8,000名	)名) と	とそ	3							
	(2) 紙(郵) (3) アンケ				ž				成果	指標						
					J期世代支	援事業を実施			1	就業都	 者数					
2			せ代相談支援		- め 労働	に関する専門知	1部と言	<b>容</b> 格	2							
		5社会	:保険労務:	士による相			10以 (こう	良们	3							
	(2) 相談時	謂	50分/回						効率	指標						
	(3) 相談回	亅数	48回/年						1	J 14 1/2						
									2							
	今後の方															
	<u> </u>															
	の実施方向			古光スまし		前年度の			迷続	' \ 3	マの中京を公托し			う後の見		
で今	仔の相談文 後の事業を	く抜る F進め	:払元した	事 <del>果</del> じめっ め継続する	ハ、マ州4· 5もの	牛皮に刈豕ビエ゙\	W <del>X</del> i	悲詗上	Î&1J	() i	その内容を分析した	/c			コスト  維持	
				- · · · · ·	-							Ì	上昇	+	44年3.3	7G/\
													<b>隆</b> 維持	Ŧ	0	
— v	<del>,</del>	지 <b>文</b> 7	=ਜ਼/亚\										編月	١		
//	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>													
	内容評価												\	T		
											となるため修正を <mark>だ</mark> くなるような事業					
て頂	きたいと思指標の設定	まい思	₹ <b>寸</b> 。	H** 2	, , , ,		, -	<i>-</i>	<b>∠</b>	0.2	V 0. 0. 2. 0. 2. 1. 1.					
活動 て)	2)指標の設定 活動として「相談」があり、結果として「就業」、成果として「継続的な就第 て)」が、本事業のロジックモデルの基本となりますので指標としては理解し								乳しま	す。/	ただし、相談者が					
期世	代であるこ	ことを	自覚して	きたのか、	たまたま	その世代だった	このかに	は判別	リが難	しいと	と考えます。もし 対象者」を再定義	この				
「伴	走支援」等	手のま				うにお願いしま		ح ن د	ا یا۔	又]及^	川水日」 とけた我	⁽⁾				
	今後の方向		5年いま#	. + + .	> <del>古</del> **		11 <del>71/ 1</del> 1∕ -	<del></del>	<del>- **</del>	+ 0-	~~~ \ \ \ <del>\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \</del>	極市				
平手 業な	美と併せ ( どとも接続	. 大子 売する	-寺と連携 5など、一	したリカレ 連のキャリ	ィノト <del>事業</del> Jアサポー	寺を展開し、剧 トをデザインす	J耒石ス "るよ	文抜き うにま	業で	もの.	づくり人材育成支 す。	<b>抜争</b>				
				,												

#### 【指煙の推移】

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈豕油宗	2								
	1	件				48	48	R6	0%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	人				5	5	R6	0%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝华伯倧	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

	【找	と入コスト	• .	人 員】							
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算			
ŀ	<u>-:</u>	タルコスト	千円	0	0	0	4,836	3,618			
	事	業費	千円	0	0	0	2,568	1,350			
		国庫支出金	千円				1,926	1,000			
		特 県支出金 地方債 受益者負担	千円								
		地方債	千円								
		源 受益者負担	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	0	0	642	350			
	人	件費合計	千円	0	0	0	2, 268	2, 268			
		正規職員	千円	0	0	0	2, 268	2, 268			
		人員	人				0.3	0.3			
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0			
		人員	人								
		会計年度(3類)職員	千円								
		その他職員	千円								
ŀ	トータルコストの増減維持理由										

|トータルコストの増減維持理由

#### 【事業の評価】

[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものにな	っているか
一次評価B	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	【総合評価】								
評価	В								

事務事業名		健康生きがい市民農園事業					
		農政課	絡先	34-3222			
関連所属		及此人的人				PHZG	J4 JELE
		基本情報】					
分野 基本施策	6 6-	経済・産業 4 持続可能な農業経営基盤の確立					
		4 対抗可能な展集程営基盤の確立 経済・産業 予	中	事業名	健康生きがい市民農園事業	費	
合 基本施策		4 持続可能な農業経営基盤の確立 算					
総 <u>分野</u> 合 基本施策 計		事 業					
 事業期間			<b>」</b> 公会言	<b>†</b>	事業	<b>美種別</b>	その他
根拠法令要綱	特定	農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律					
地域区分	_	施設種別   文化	<u></u> と・:	コミュ	ニティ施設 予算	要求	区分 経常経費
【事業概	要						
事業概要				対象	指標		
<u>趣旨・目的</u> 農家でない方が	小さ	な面積の農地を利用して自家用の野菜等を栽培した	<del>-</del>	1			
	きが	いづくりとして土と親しみながら、農業に対する理		2			
で述めることで	ניום.	20(1)3.			指標		
<u>内容</u>					1月155    貸付区画に対する利用割合		
管理農園24力所	f515[2 上 豊 康	区画の管理運営業務を行っている。 21カ所 478区画			兵1100円に対する415/1181日		
アの区画面	積	33∼75㎡		2			
(2) 健康生き	がい	金 2,000~4,500円 市民農園2カ所 20区画		3			
ア 区画面 イ 年間使		50㎡ 金 3,000円		成果	指標		
(3) 内田簡易	オー	トキャンプ施設付1カ所 17区画		1	利用満足度		
ア 区画面 イ 年間使		200m 金 18,000円		2			
				3			
				1	10100		
				2			
【今後の方	向性						
一次評価(ア							
今後の実施方向				継続	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		今後の見込み
		し、その間一度も整備していないため、農園環境 起耕)を実施し、利用者からのアンケート結果に <b>!</b>					コスト   削減   維持   増力
地主意向により	市街	地の農園が閉園傾向にある。このため、自己保全し	してい	いる農	地を農園として利用するよ		上昇
うに推進し、地	主等	が管理運営する市民農園を増やし、利用コンセプト	卜合:	った農	園の設置を推進するもの。		維持
一、元志元 / / /	J <del>†</del> 77=	T. (T. (T. (T. (T. (T. (T. (T. (T. (T. (				\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	縮小
二次評価(タ	<u> </u>	<u> </u>				_	
1)内容評価							
		事業実績によって運用スタイルが確立された点はゝ 関するリスクの現実化、社会変化とのズレも発生し					
と考えます。			_	- <del>У</del> µŀ	2.2-4 (1000) (1000) (1000)		
2)指標の設定 昨年度から指標	の見	直しを頂き、インプット(利用割合)からアウトカ	カム	(満足	度)へと再設計されたこと		
で、事業のロジ 3)今後の方向	ック	モデルは修正されたと感じます。					
土地利用や管理	運営	なども次の10年を見越して戦略立案を早急に進めて					
金や税制優遇)	、ア	グ)との組み合わせによる動機付け、サステイナb グリ/フードテックによる農園の管理、食育や交流	拠点	えとして	て今市民以外への開放、市内		
外の交流事業展	開な	ど、松本市の独自性を創ること、他の事業と連携することを望みます。					
	. 2	<u> </u>					

単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込			
					目標値	口际干区	達成度
%	100	100	96	95	100	R7	96%
							#DIV/0!
						80 R7	#DIV/0!
%			79	80	80	R7	99%
							#DIV/0!
							#DIV/0!
							#DIV/0!
							#DIV/0!
?		6	6	6 79	6 79 80	6 79 80 80	6 79 80 80 R7

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>[</u>	<u>役 入 コ スト</u>	· • .	人 員】					
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
7	-タルコスト	千円	5,091	5, 719		5, 510	4, 717	5,072
=	<b>事業費</b>	千円	1, 179	1,807		1, 598	1,561	1,460
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	特定 地方債 受益者負担	千円						
	源 受益者負担	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1, 179	1,807		1,598	1,561	1,460
	人件費合計	千円	3,912	3,912		3, 912	3, 156	3, 612
	正規職員	千円	1,512	1,512		1,512	756	1,512
	人員	人	0.2	0.2		0. 2	0.1	0.2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	2,400	2,400		2,400	2,400	2, 100
	人員	人	0.8	0.8		0.8	0.8	0.7
	会計年度(3類)職員	千円						
	その他職員	千円						
L_	カルコフトの増減	/在 <del> </del>	1					

トータルコストの増減維持理由

### 【事業の評価】

		III 4	
[目的妥当性評	平価]	1. 事業の目的、内容、方向性	等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価	В	なっている	

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 │ B │ 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

【総	【総合評価】										
評価	В										

17十円 7十元	又	争伤争未许仙	衣 ( 下和 445)	て小正元	沙尹	伤于	未 /					
事務事業名	\$	農畜産物販売促過	進事業									
担当所属		農政課					連	絡先		34-33	221	
関連所属	គ រា											
【事 務 事	業	基本情報】										
分野		経済・産業										
基本施策	6 –	4 持続可能な農業	経営基盤の確立									
総分野	6	経済・産業		予	中事	業名	農畜産物販売促進事業費					
総 合 基本施策 計	6 –	4 持続可能な農業	経営基盤の確立	算								
計				事業								
曲												
事業期間		H25 ~	会計種別	一般	会計		事	業種別		政策	的事	務
根拠法令要綱			•									
地域区分	_		施設種別	_			予	算要求	区分	経常・政	攻策的	]経費
【事業概	要	・指標】										
事業概要						対象技	信標					
趣旨・目的												
			強化を推進し、農業所得			1						
なげる。農産物	の地	産地消の推進と消費	拡大を図ることにより、:	地域(	り農							
業及び関連事業	り扱	興を図り、地域を活	性化させる。			2						
内容 1 農畜産物の	゚゚゚゠	ンド化の推進				活動打	旨標					
							也域農産物による新たな商品	品開発	支援件	数(H2	5年度	か
ア ふるさ	と納	税返礼品登録推進(	登録件数82件) の農産物の情報発信(発	(全字)	書つ		らの累計)					
8回) (2) 伝統野菜			の放圧物の情報元后(元		<b>Α C</b>		農畜産物のふるさと納税返行			<del></del>	_ /+	147
アー松本ー	-本ね	ぎ等の作付拡大面積	に応じた補助金の交付(	1件)			学校給食に地場農産物(松 ^ス 品数	本地 项	産物)	を新たし	こ 使用	96
1   松本	- 440 5 志 促	ぎの栽培講習会の開催 地場	催(「凹) 農産物の付加価値向上)			成果排	旨標					
		商品開発、販路開拓					也域農産物による新たな商品	品開発	件数(	(H25年)	度から	の
		決定4件)				) 5	累計)					
(2) 各分野の	)専門	家から構成した審査	会委員の活用			2 1	農畜産物のふるさと納税寄	计件数				
審査会(			. D			0 "	民田庄 150505 ひこ ご州 150日 1	311 2/				
		サイト説明会(5月	・6月開催)			3 =	学校給食に地場農産物(松料	<b>太</b> 地域	産物)	を使用で	する割	合
(4) 異業種交   (5) 6次産業	シルカ	:(2月開催) ミナー(3月開催)							,,,	_ 1,7,1,3 ,	, о н.	
3 地産地消 <i>の</i>						効率打						
(1) 子ども・	若者	農業体験支援事業補	助金(9件)			1						
(2) 子仪稍良	[/\(U)	地元食材提供支援				2						
【今後の方	白性	= }										
一次評価(ア												
今後の実施方向			前年度の治療	(土田	1 £	迷続			<u>~</u>	後の見込	٦.	
									71		スト	
							は、農業所得向上につなが	\				T99T
							アップするとともに発信回			削減 糸	推行	<b>岿人</b>
数も増やしてい	きき	す。学校給食の地場	農産物の使用率は、県全	体のゴ	平均に	比べる	ると高いものの、使用率向	成	上昇			
	にあ	ると認識。給食セン	ターへの搬入に課題があ	ること	こから	、関係	系機関と調整していきま	果	維持	0		
す。								715	縮小			
二次評価(タ	小部	評価)										
1)内容評価			•									
							けしてロジックを持って取					
					ら記載	なのとす	うり「情報発信」は課題と	\	\			
0(、改善の第2)指標の設定	地の	めると考えまり(許	細3)今後の方向性に記む	戟 <i>)</i>								
		ニゲット別にインプ	w k 指揮が設守され - 日:	画店运	支げん	でキュ	ていることを評価します。					
ノバシン、ババリン 他方、課題であ	る「	・ ファーかにコンフ 情報発信」の評価指	ァーヨッかみたられ、 日 煙がないため設定が必要	ァピス です	エルハラ	・しょり	ブランド化指標(知名度~					
		加を検討ください。	12/17:00 1/10/00 1/1/20分	< y o	יענעו	101 2	ノノー 101日は、州口区					
3)今後の方向		·ν⊢ ⊂ ΙΧΗΊ ΚΙΣ C Λ.0										
		どう改善するか、ど	のような内容に取り組む	か記載	載くた	きさい。	昨年度も記載しました					
が、例えば松本	一本	ネギであれば、深谷	ネギ等とのコラボレーシ	ョン、	餃子	<b>一</b> や鍋な	などネギを活用できる料理					
							Dご当地グルメ戦略 (代表					
							また給食では、塩尻市と比					
			全く違いますので、参考 を活かした戦略を検討く			· 60	の他、大学生協とのコラボ					
レーショフなと	- 化4	コロのテトハフテージ	で心かしに料哈を快討へ	にこし	, 10							

KIH IN		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈水油</b> 宗	2								
	1	件	13	13	13	17	28	R7	46%
活動指標	2	件		44	82	100	120	R7	68%
	3	品		7	7	5	20	R7	35%
		件	13	13	13	17	28	R7	46%
成果指標	2	件		208	938	1, 100	1,500	R7	63%
	3	%		19	20	25	20	R7	100%
効率指標	1						·		#DIV/0!
※が作品は	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

### 成果指標の増減維持理由

- ・補助金交付により新しい商品が開発されました。 ・ECサイト説明会等での勧誘により、ふるさと納税返礼品出品数が増加しました。 ・学校給食センターと農業者等との交流を推進し、給食の地場農産物の使用率が向上しました。

<u>【托</u>	<u>1 人 し 人 5</u>	<u> </u>	人 貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u>                                     </u>	タルコスト	千円	42,000		30,926		23, 336		23,549		25,618
事	業費	千円	20,832		9,758		2, 168		2, 381		4,450
	<b>国庫支出金</b>	千円									
	符 県支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	20,832		9,758		2, 168		2,381		4,450
人	、件費合計	千円	21, 168		21, 168		21, 168		21, 168		21, 168
	正規職員	千円	21, 168		21, 168		21, 168		21, 168		21, 168
	人員	人	2.8		2.8		2.8		2.8		2.8
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円			·						·

トータルコストの増減維持理由

令和3年度は補助金交付実績がなかったことにより事業費減少

#### 【事業の評価】

F 1. >/< -/	н ,	Part   2	
[目的妥当性評	平価]	1. 事業の目的、内容	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価	В	なっている	

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

C 概ね結びつくものになっている 一次評価

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【絲	合評価】		
評価	В		

1- 11	H J 1.	$\sim$	于加于木叶四次	, ( 151H 111X		,,,,,		· · ·				
事	務事業很	名	農業者育成事業									
	担当所属		農政課						連絡先		34-3222	
	関連所属	7m8										
【事	務事	業	基本情報】									
分野	375		 経済・産業									
基本的	施策	6 –		基盤の確立								
総り	<del></del>		 経済・産業		予	中事	能名	農業者育成事業費				
合良	基本施策	6 –		基盤の確立	算							
総合計画					事業							
画					業							
事業其	期間		~	会計種別	一般	会計			事業種別	J	政策的事	務
相物	去令要綱			•								
地域区		_		施設種別	_				予算要求	区分	経常・政策的	勺経費
【事	業 概	要	・指標】									
事業根	既要					文	象	指標				
趣旨・	・目的					,	1	認定農業者				
農業者	者の高齢化	5、担	い手不足による農業労働	力の低下等による未耕	作農	₹心	$^{\mathrm{D}}$	<b></b>				
			防ぐため、農業後継者組				2)					
かける	5栓呂規修	乙丛5 安典	、高価値作物への経営転 者の育成を推進するもの	揆を日指り辰美百八文  です	な抜き	<u> </u>						
م د د	こにみり、	辰未	日の日以で肚准りつひの	<b>(9</b> )		沅	動	指標				
内容						(	1)	—————————— 補助金交付件数				
経営規			転換を目指す農業者に対	して、補助事業を活用	して	[経 ]	יי					
費の一	一部を補助	ける	もの。			(	2)					
曲光公	⟨v ⟨v v <del>  </del>	1\ <del>2\</del> ←1\	4/1/末米 (十)									
長来位	女体石 組領を団体 しん	対対	強化事業(市) 新しい農業経営者協議会			(	3)					
	&四体》(1) 象経費】協							IV III				
【補助			の1/3以内【上限】2(	D万円		þ.	(果	指標				
未来を	を担う農業	経営	者支援事業(市)			(	D	認定農業者への農地集積	責面積			
	な者】 認	定農	業者、認定新規就農者、	女性農業者								
【对图	<b>駅経費」</b> 総	と国現	模拡大等のための機械、	施設の取得		(	2					
1. 竹川 以 公学 4.	り半】   乙 咪承・発苗	:/ 3 E等支	【上限】50~200万F 援事業(国・市)	٦								
性白州 【対象	应外 元成 象者】経営	****	された中心経営体			(	3					
			置等購入費、開発、取得	費		<del>ن</del>	h玆:	 指標				
【補助	助率】 1 /	2 [[	現度額】100万円				T	1日11亦				
			援交付金(国)			(	$\mathbb{D}$					
	象者】 中心 bag】 取得		14 る融資残額の3/10				$\overline{}$					
	の学』 取代 隻額】30					(	2					
K PLAIS	X PRI O	, 0 , 5										
【今	後の方	向性	<b>:</b> ]									
	評価(ア											
	の実施方向			前年度の結	果	継	売			今	後の見込み	
			して、経営規模の拡大、					益の向上を推進します。			コスト	
			う後継者組織への活動を								削減 維持	増大
										上昇		
									成果	維持	0	
									木	縮小		
二次	評価(タ	小部	平価)									
	内容評価											
			市等との比較を行い、支									
			松本市は4つの補助事業の	の中でどこが一番の問題	題な	のかを	把握	屋(調査)し、重点的に	推進			
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		るなども検討ください。									
			農地集約面積の拡大につ	いては、昨年度と同様	]ジック	7干	デルの一部として妥当と	_考	/			
えます	す。ただし	、本	事業の目的は、人材育成	であり、経営規模拡大	5付加6	f値	化です。アウトカム(瓦					
指標)	としては	は、農	家の収益拡大や地域の農	業生産額を設定する必	があり a	す	のでご検討ください。					
	今後の方向		+	TD (7)	n	<u></u>		+44				
			者」への支援策としては									
			等がなければ、新たな事 等と連携し(そちらには									
元列はる「農	文句 月以手 農業者育成	事業	サと建捞し(てうりには 」としての事業内容の拡	応をお願いします。	6 رس∙		پر ت _ا	バ・ヘリックリ 、尹未白り	_עט_			
J . 11	~~~ ~ ~ ~ ~ ~	* \r	C 、	22 C 27 MAY ( ) C ( ) 0								

	<u> </u>	J圧 リン A							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人	544	547	552	557			
2013年1日	2								
	1	件数	27	57	31	38	38	R8	82%
活動指標	2								#DIV/0!
	3					#DIV/0 #DIV/0 850 2,787 2,900 R7 98% #DIV/0	#DIV/0!		
	1	面積/ha	2, 618	2, 596	2,850	2, 787	2,900	R7	98%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
刈半怕惊	2								#DIV/0!
メルチャド キョウ・	***	#++ TIII							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>投</u>	人 コ スト	<u> </u>	人員】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
ーち	'ルコスト	千円	50, 237		51,236		94, 455		56,709		50,692
事	<b>業費</b>	千円	19, 997		20,996		64, 215		26, 469		45,400
	国庫支出金		4, 251		4,016		1, 740		3,500		11,600
	^特 県支出金										
	地方債										
	短 受益者負担										
	その他										
			15, 746		16,980				22,969		33,800
			30, 240		30, 240				30, 240		5, 292
	正規職員	千円	30, 240		30, 240		30, 240		30, 240		5, 292
	人員	人	4. 0		4.0		4.0		4.0		0.7
		千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	<u>-</u> タ	年 度	年 度 単位 - タルコスト 千円 事業費 千円 特定 関連支出金 千円 明ま支出金 千円 明ま支出金 千円 明ます 千円 一般財源 千円 一般財源 千円 人件費合計 千円 「人員 人員 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 人員 会計年度(3類)職員 千円 その他職員 千円	年 度 単位 平成31年度 決算 - タルコスト 千円 50,237 事業費 千円 19,997 特 国庫支出金 千円 4,251 県支出金 千円 50,237 特 現立出金 千円 4,251 県支出金 千円 50,000 一般財源 千円 15,746 人件費合計 千円 30,240 人員 人 4.0 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 0 人員 人 会計年度(3類)職員 千円 0	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 - タルコスト 千円 50,237 事業費 千円 19,997 特に 国庫支出金 千円 4,251 県支出金 千円 位 70他 千円 での他 千円 での他 千円 での他 千円 で別談 千円 30,240 人件費合計 千円 30,240 人員 人 4.0 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 0 会計年度(3類)職員 千円 70 での他職員 千円 その他職員 千円 その他職員 千円 その他職員 千円 その他職員 千円 である 1 をおきまた (3類)職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3類)職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3類)職員 千円 での他職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3類)職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3類)職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3項) 職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3項) 職員 千円 での他職員 千円 である 1 をおきまた (3項) 職員 1 をおきまたた (3項) 職員 1 をおきまたたた (3項) 職員 1 をおきまたた (3項) 職員 1 をおきまたた (3項) 職員 1 をおきまたたた (3項) 職員 1 をおきまたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたたた	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 -タルコスト 千円 50,237 51,236 事業費 千円 19,997 20,996 特 国庫支出金 千円 4,251 4,016 県 支出金 千円 50,237 51,236 特 関	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 - タルコスト 千円 50,237 51,236 事業費 千円 19,997 20,996 情況 19,997 20,996 日本 19,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20,997 20	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 -タルコスト 千円 50,237 51,236 94,455 事業費 千円 19,997 20,996 64,215 特定 財源 国庫支出金 千円 4,251 4,016 1,740 中では 10円 での他 千円 での他 千円 15,746 16,980 62,475 人件費合計 千円 30,240 30,240 30,240 30,240 「人員 人 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 人員 人 会計年度(フル、1・2類)職員 千円 0 0 0 0 0 人員 人 会計年度(3類)職員 千円 その他職員 千円 その他職員 千円 その他職員 千円 700 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	年 度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 (3類)職員 千円 その他職員 千円 をもの 2年度 (3類)職員 千円 の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 - タルコスト 千円 50,237 51,236 94,455 56,709 事業費 千円 19,997 20,996 64,215 26,469   国庫支出金 千円 4,251 4,016 1,740 3,500   日本 1,740   日本 1,740	年度 単位 平成31年度 決算 令和 2年度 決算 令和 3年度 決算 令和 4年度 決算 令和 4年度 決算 令和 50,237 51,236 94,455 56,709 事業費 千円 19,997 20,996 64,215 26,469 東美貴 大円 4,251 4,016 1,740 3,500 東京 大円 東支出金 千円 地方債 千円 地方債 千円 での他 千円 一般財源 千円 15,746 16,980 62,475 22,969 人件費合計 千円 30,240 30,240 30,240 30,240 30,240 第十度(フル、1・2期)職員 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

トータルコストの増減維持理由

#### 【事業の評価】

	<del>    </del>	
[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容	、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価 B	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

<u> </u>	を	冗事	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	·耒 <i>)</i>						
事務事業名 農村女性活動推進事業										
担当所属農政課				į	連絡先		34-322	2		
【事務事業基本情報】										
分 争 未 叁 午 情 報										
基本施策 6-4 持続可能な農業経営基盤の確立										
総 分野 6 経済・産業 合 基本施策 6-4 持続可能な農業経営基盤の確立	予	中事	業名	農村女性活動推進事業費						
	算事									
画	業									
事業期間 〜 会計種別 ー	一般	会計		事	業種別		その	他		
根拠法令要綱										
心场运力	_	予算要求区分 経常経費								
【事業概要・指標】										
事業概要 趣旨・目的			対象技	指標						
農業や地域活動の担い手として重要な役割を果たしている女性の			1	地区会員数						
よる活力ある農村社会の構築を目的に、各種学習活動等を通じ農村: 動の推進を図る。	女性	活	2							
また、家族単位で農業を営む家族経営が大半を占めており、経営 の境目が明確でなく労働時間・報酬が曖昧になりやすくなっている。			活動技							
経営協定※を締結することで、女性の役割を明確化し社会的地位等			1)	 事業開催件数						
を目指す。			2	3-313(7.5)						
※家族経営協定とは、家族農業経営に携わる各世帯員が、意欲とや をもって経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や	り甲の虫	斐山								
世代   10   10   10   10   10   10   10   1	合い	に	3							
基づき取り決めるもの。			成果	省標						
内容			1	家族経営協定数						
農村女性活動の推進を図るため、各地区へ事業推進活動を委託してもの。	てい	る								
1 委託先 まつもと農村女性協議会			2							
2 事業推進地区等 9地区 1団体 計10団体 推進地区:旧市・本郷・中山・入山辺・和田・島内・梓川・			3							
芳川・内田 推進団体:長野県農村生活マイスター協会 松本ブロック			効率打	<b>省標</b>						
3 地区推進活動			1							
(1) 各種講座(料理・学習会・体操等)の開催 (2) 地域公民館活動の参加										
(3) 農業委員との懇談			2							
(4) 食育事業への参加										
一次評価(内部評価) 今後の実施方向性 │継続 │ 前年度の結	果	糸	迷続			今	後の見込み	l		
・協議会の活動は、会員相互の交流を目的とした料理教室等及び地	区公	民館	と連	<b>隽した地域活動している。</b>			コス	<b> </b>		
<ul><li>・現在は会員の高齢化、新規加入会員がいないなか事業がマンネリー・こうした状況から、地区で次世代の若手との意見交換(特に男女・</li></ul>				はなく)等を改めて行い.			削減維持	寺 増大		
幅広い年齢や性別の方が参画できる組織づくりを検討する。	_,		- / 3 - ( )	0.0. () (] (20)(0) (1) (	成果	上昇 維持	0			
					果	縮小				
二次評価(外部評価)					_					
内部評価でも示されており、昨年度評価(参照ください)でも記載 業」や「農業者育成事業」と連携(あるいは一つにして)"次世代の										
ではなく) "等を改めて行い、10年、20年先について対話をおこなし										
ます。 2) 指標の設定										
現事業を継続するならばとなりますが、事業目的から考えれば、家										
しては、例えば「女性の農業経営者数」や「協定締結後の従業満足」 は十分にできないため検討をお願いします。	度」	を設	定した	なければ、事業評価として						
3) 今後の方向性		_								
上記1) に記載し、昨年度も記載したとおり、現時点での活動は理りからの農業コミュニティや経緯スタイルを考える必要を感じます。										
【ク)は、労働集約を解消したり、若者(女性含む)参加、収益の安	定・「	句上?	を期待		=					
併せて、他の就農者支援とまとめて取り組みを進めることをご検討・	<u>くた</u>	さい	١,							

	<u> </u>	J圧 12 A							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人	200	206	200	200			#DIV/0!
刈豕怕惊	2								#DIV/0!
	1	事業件数	205	179	276	280	200	R8	138%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	協定数	234	240	248	253	270	R8	92%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
<b>劝</b> 索比捶	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
バイチャナド ナボ のっ	***	#++ TID		·	·	·			

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

**7**+几 7

	<u>投</u>	<u>: 人 コ スト</u>	• ,	人員】								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 :	2年度決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
7	一う	フルコスト	千円	12, 290		11,930		6,698		3,676		2,986
	事	業費	千円	1,730		1,370		1,430		1,420		1,330
		<b>国庫支出金</b>	千円									
		符 県支出金	千円									
		特別表出金 地方債 受益者負担	千円									
		^別 受益者負担	千円									
		*** その他	千円									
		一般財源	千円	1,730		1,370		1,430		1,420		1,330
	人	件費合計	千円	10,560		10,560		5, 268		2, 256		1,656
		正規職員	千円	7,560		7,560		2, 268		756		756
		人員	人	1.0		1.0		0.3		0.1		0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	3,000		3,000		3,000		1,500		900
		人員	人	1.0		1.0		1.0		0.5		0.3
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
1	<u>ー</u> く	フルコストの増減	維持理は	3								

トータルコストの増減維持埋田

### 【事業の評価】

F J. NIZ AN HI	Part   1		
[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、	内容、方向性等が市の目指す姿を	実現するためのものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

# [有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 C 概ね結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 C 概ねなっている

【総	合評価】		
評価	С		

中们 3 千良 事份事未計Щ衣 ( 中和 4 千良 極视事份事未 )														
ŧ	事務事業名	名	新規就農者育成事業	¥										
	担当所属		農政課						連	格先	0	1263-34	-322	22
	関連所属		農業委員会事務局											
[ -	事務 事	業	基本情報】											
分野		6	経済・産業											
	施策	6 –	・4 持続可能な農業経営	営基盤の確立										
	分野		経済・産業			予	中事業	名	新規就農者育成事業費					
合	基本施策	6 –	・4 持続可能な農業経営	営基盤の確立		算								
計						事								
画						業								
事業	期間		H13 ∼	会計種別		一般	会計		事美	種別		政策	的事	务
根拠	法令要綱													
	区分		lla lm v	施設種別					予算	要求	区分	経常・政	放策的	経費
		要	・指標】											
	概要						対	象:	指標					
	・目的						- l							
			翟保及び就農後の経営確立 養入等への支援、営農指導				(	4						
率的	に農業経営	が行	われるよう支援するもの	<b>か。</b>			(2							
内容	!						活	動	指標					
1	新規就農者	育成な	花総合対策 Z・自営就農する認定農業	業者に対し、 国・眞	1の補	i助事	· <b>業</b> 1		新規就農者育成総合対策交付	件数				
			交付し、就農後のフォ[			12/13-3-1	2							
	新規就農者		な対策事業 ド松本市の主要農作物の9	土産塩銅を図るため	۸ ۱۸	. 18	3 عر							
			が低本品の主要展15個の1 式農者を含む新規就農候社				<u></u>		比描					
実	施し、併も	せて農	と地の確保、機械等の購入					<b>未</b> :	指標					
賃	助成等を実	€施す	-る。				1		新規就農者育成対策事業研修	修了	後の営	農継続者	釹	
							2							
							3							
							効	率	 指標					
							1							
							(2							
								_						
[4	今後の方	· 向性	<b>‡</b> ]											
	ア評価(ア													
	の実施方向			前年度	きの結	果	継続	Č			今	後の見込	み	
			・ と と 継者不足により農業生産						下が懸念されている。				スト	
									械等の取得に対する支援を			削減 組	掛:	増大
									着を図る。また、情報発信	<u>_+</u>	上昇			
の強	化及び受け	八人	に態勢として住環境の確何	未関連他束を地域協	通関し	より	美規し	( )	(1 < °	成果	維持			0
										<b>*</b>	縮小			
<u>ーソ</u>	ア評価(タ	<b>小部</b>	評価)											
4 \														
	内容評価	hŒ∜	み理接法をおみいてする	ド マガリ/コード		51-	トってる	2.₩	ことを紹出することが不可力					
一次産業は労働集約や環境依存が強いですが、アグリ/フードテックによってそれらを解消することが不可欠 <b>/</b>														
確保	や団体等と				も必要ですが、重要なこと	<b>\</b>								
は「伴走」 や「フォローアップ」です。そこを事業として全面に表現することをごれ っ)と無の設定									さい。					
	指標の設定		ルンレーフ「母叫声学/	⋀ <del>六</del> ┦╨╬╴╷╾╅╵	7	<del></del>	七年 /	<u></u> .	ᆸᆸᆉᆝᆝᆜᆙᆖᇸᅅᆄᆂᅶ					
活期 粉:	指標(1 /	ノノツ	/ト)としく「補助事業(  カレレア災当ですが、	クダ外件数」に対し 3.家には男計数でに	ノ ( 、 + <i>ナ</i> >ン	以未	:指悰( 继结家	)' '	ウトカム)に「営農継続者					
数」は事業のロジックとして妥当ですが、厳密には累計数ではなく、「継続率(継続 すべきだと思います。例えば、全国や他地域での継続率を把握し、松本市の独自性を														
をお願いします。														
3)	今後の方向	唯												
									存事業である「農村女性活					
動推	進事業(見	直し	ノを提案)」、「農業者? - 西	自成事業」等と事業 カオスニレケ ご <del>!</del> ◆こ	長目的	**!\  や内	谷の重	寝	なども感じますので、守備					
判出	化建捞、集	₹πIJ <i>'</i>	再度検討し、選択と集中	+9 るここをこ侠討	ב/ 🖊 ני	۱۱ ت	0							

TIH IV									
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈水扣</b> 标	2								
	1	件数/年	15	14	12	14	14	R7	86%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	人数/R7累計	37	40	43	45	50	R7	86%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
<b>动家</b> 华睡	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
バイエルドエット	34 \ D.Z.	U-1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·				,

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>【抒</u>	ど 人 コ スト	· • ,	人 貞】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	32,081		33, 501		30,680		35, 291		43, 322
事	業費	千円	26, 789		28, 209		25, 388		29, 999		38,030
	<b>国庫支出金</b>	千円	20, 545		20,062		18,855		20,693		26,700
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	地方債	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	その他	千円	30		30		30		30		30
	一般財源	千円	6, 214		8, 117		6,503		9,276		11,300
人	件費合計	千円	5, 292		5, 292		5, 292		5, 292		5, 292
	正規職員	千円	5, 292		5, 292		5, 292		5, 292		5, 292
	人員	人	0.7		0.7		0. 7		0.7		0.7
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

新規就農者及び研修生の確保状況、研修期間内の機械助成に係る支出金額によって変動するもの。

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

一次評価 B なっている

就農希望者を確保するため、より魅力的な就農支援を実施する。

【総	合評価】		
評価	В		

PAH 3-17	文 予切予3		( ISTH TITE	4424	,,,	171 -1	<i>&gt;</i>  \				
事務事業	名 スマート島	農業推進事業									
担当所属	農政課							連絡先		34-3222	
関連所属											
	業基本情	報】									
分野	6 経済・産業										
基本施策		どな農業経営基盤	の確立			- <del>*** / *</del>		#			
総   分野   基本施策	6   経済・産業   6   4   持続可能	だな農業経営基盤	の独立	予	甲事	<b>美名</b>	スマート農業推進事業	<b>買</b>			
合 基本施策 計	0 4 分形均形	2.4辰未社占基盤	ひが度な	算事							
画				業							
事業期間	R4 -	~	会計種別	一般	会計			事業種別		政策的事	
根拠法令要綱											
			111 - n e e n n					I = ++ = 1\ -	= 1 = 1 = 1		
地域区分		:1	施設種別	_				予算要求[	⊻分 □ 政	(策的経費	
【事業概	要・指標					1151	> 1 TF				
事業概要						対象指	<b>旨標</b>				
<u>趣旨・目的</u> スマート農業	美を推進するため、	スマート農業に	音する機械等の服	<b>퇔入 1.</b>	- 亜	1	忍定農業者数				
	て補助するもの	八、「成来に		47710	- 54	_					
						2					
内容						活動指	旨標				
<u>内容</u> 1 対象者	認定農業者・中	□心経営体・集落	営農組織・				 甫助金活用件数(R4~R8	までの男	+)		
, ,,,,,,,	農地所有適格化					U T	田功亚冶历什数(114~110	)			
2 補助率	市光弗の1/2	以内(上限20	O TEID)			2					
2 補助率	争未良の1/2	以内(工限20	ובוניט								
3 対象機械等			カタログ」に記載			3					
			5たりの購入価格が	יי		成果指	<b>旨標</b>				
	50万円以上の	760)				① <b>=</b>	忍定農業者への農地集積	<b>而</b> 籍			
						U p	心化成未甘八以成心未供	四位			
						2					
						3					
						効率指	5煙				
						1	日1亦				
						-					
						2					
一次評価(F	内部評価)										
今後の実施方向	]性  継続		前年度の約			迷続			今後	の見込み	
							や費用対効果を十分に検	討		コスト	
	り、こうした状況か S騰する中、農産物						2.公の部頭			削減 維持	増大
							プセンの誘題 見するための機械導入を		上昇	$\overline{}$	+
進していく。	PINCE - 131,0 (1-131.)	, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	3HH2		, . ,		里	維持 縮小	0	+
二次評価(タ	<b>从部評価)</b>								いは、		
1)内容評価											
							も大きくリブランディン				
							こなるものと理解します こ判断すべきかと考えま		$\setminus$ $\vdash$		
た。		プロンサ へんい	ルイスしコヘト	(人]	<b>(</b> 四只 <i>)</i>	い相り	-⊤I四ッハピル℃与んよ				
2)指標の設定							W = 10 = 1 · · ·				
							美の成果ではありません ぬ「収穫変えぃぱの巫				
							や「収穫率アップの平 すので、設定は避けた方				
良いと考えます	-		1021-1171/ 9 DF	בן טנו ב		, 0, 3	, -, -, http://c/j				
3) 今後の方向		F1	· 40 6 ± 1	<b>7</b> 1 -0	J1L	7 II-'	1407. + 1454 + 44. 45 44.				
中込も多数です	りること叛迫されて デナい、また 答字	、いるよりか、こ 会的な支援≠.必里	.イレりをしつかり丿 ヹですが	・ビー	・ルす	きましゃ	J組みを推進事業の一環 さ「フォローアップ」で				
							をご検討ください。				

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1	人			552	560			
<b>刈</b> 家油宗	2								
	1	件数			12	26	25	R8	48%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	面積/ha			2,850	2, 787	2,900	R7	98%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
<b>刈</b> 半拍標	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u>【托</u>			人員】				
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
<u> </u>	タルコスト	千円	0	0	0	21,538	21,512
事	業費	千円				20,026	20,000
	<b>山</b> 国庫支出金	千円					
	符 県支出金	千円					
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円					
	短 受益者負担	千円					
	"" その他	千円					
	一般財源	千円	0	0	0	20,026	20,000
人	、件費合計	千円	0	0	0	1,512	1,512
	正規職員	千円	0	0	0	1,512	1,512
	人員	人				0.2	0.2
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0	0	0	0	0
	人員	人					
	会計年度(3類)職員	千円					
	その他職員	千円					
_	タルコストの増減!	維持理は	3				

ータルコストの増減維持埋田

### 【事業の評価】

[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容	ぶ、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価B	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

# 生 你 体 由 及 由 <del>双</del> )

卫作	山 5年月	支	<del>事務事業評価表</del>	文 ( T-	和 4年度	征	沉 事 化	分手	<del>·未</del> <i>)</i>						
	務事業名		農用地高度利用流動	動化事業											
_	担当所属	,	農政課							連絡	先		34-32	222	
<u> </u>	関連所属		農業委員会事務局												
【≢ 分野			基本情報 <u>》</u> 経済・産業												
基本			程度・産業 4 持続可能な農業経済	受其盤の確	: <del>\</del> \										
	分野		<u>- パパパポのスペパー</u> 経済・産業	口壬皿小店	<u></u>	予	中事	業名	農用地高度理利用流	動化事業	費				
	基本施策	6 –	4 持続可能な農業経	営基盤の確	立	算									
計画						事業									
<u></u>	11月		~		計種別		会計			事業	新 UII		政等	的事務	次
	法令要綱	農業		<u> </u>	ロー・「生力」	צניו				·····································	怪力」		以水	<u> н у <del>д г</del>и</u> ј	<i>ח</i>
地域[	区分			施	設種別					予算	要求	区分	経常経費	<u> </u>	
	業 概	要	・指標】	20						3 71.	<u> </u>	_/3	41113412		
事業			10 10.1				Ż	象	指標						
趣旨	・目的							1)							
地の	有効利用を	図り	積を通じて農業の中核  、もって農地保有の合				€円     横	_							
造のi	改善に資す	るた	めの施策を実施する。					2							
内容							Ä	働	指標						
1 .	人・農地ブ		の推進 約化を図るため、人・)	農抽プラン	の目直し及り	<b>ド</b> 田	fを 	1							
行 [']		· /			の元色の次と	<b>人</b> 人们		2							
	農地中間管			<del>깣</del> 攻ᅷᇨᅩ				3)							
,	長地中间官	连饭	構の委託を受け、窓口	未務を打り	0				七冊						
3 . †	機構集積協	力金	交付事業				Þ	T	指標						
			金:貸付面積に応じて 金:離農や経営転換等			交包		D	認定農業者への農地集	積面積					
4 :	土地利用型	経営	規模拡大奨励金交付事	業				2							
(1)			認定農業者					3							
(—/	新規設定	₹:6,	000円/10a (存続期間	引3年以上で	契約初年のみ	<del>ሃ</del> )	Ź	加率							
	再設定		年度2,250円/10a 年度1,500円/10a					1)	1110						
		R5	年度 750円/10 a												
								2							
<b>[</b> ∠	後の方	白性	ŧ1				_								
	で評価(ア		_												
今後(	の実施方向	]性			前年度の網							今往	後の見込	み	
			を担う農業経営体が、							集約		/		スト	134 1
			模拡大を目指す兼業農   」から「地域計画」へ(							い農	1	上昇	削減網	<u>野</u> 村 □	唱大_
	対応を検討				iowa, yaima	,			. 1 11/1/2 13 14 2/11/14 13	,2	成	維持		$\circ$	
											果	縮小			
二次	で評価(タ	部	評価)												
1 \ '	内容評価														
		メン	トになりますが、スマ	ート/インラ	テリジェンス	農業	を推進	する	5上では農地利用の効率	軽化は					
極め	て重要です	-。農	地等の現状評価(登記								1				
	て頂きたい ピ煙の塾宝		えます。												
本事	旨標の設定 業の目的や成果までのロジックモデルを想定し、「活動指標」を設定														
用型	経営規模拡	圣営規模拡大奨励金交付事業」は、対象が認定農業者であり、認定農 - ト農業に関するセミナー等で実施が、活動装煙にかり得スと考えま							增加、農地集積(集約	) や					
	-ト農業に関するセミナー等で実施が、活動指標になり得ると考えま 寸(見直し)ください。R7の目標値として2,700haがありますが、候														
見え	ません。 市としての重点地域や優先順位等の方針(例:狭小・不整形地)に併														
きる。	ように指標	の追	地域や優先順位等の方 加を検討ください。こ				則定で								
3) 1	今後の方向	性 (	に協家ながひかかげ 。	·光田·比·梅 / -	1 フトロボリ	<b>∠</b> 1−+	S(.) <del>-+</del> -	<b>.</b>	キたWab++ノし笠デフ・	n c #-					
スマ [・] 換事(	一ト辰業寺 例等も併せ	て紹	転換率等が分かれば、  介するなどもご検討く	成 <del>末</del> 指標と ださい。	. ひてみり安当	41c/9	いけい	000	ょにWebリイト寺でそれ	いの転					

<b>【</b> ]日 小小	<u> </u>	]圧 リン』							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
刈水拍标	2								
	1								#DIV/0!
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	面積/ha	2, 618	2, 596	2,850	2, 787	2,900	R7	98%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
劝举拍惊	2								#DIV/0!
エギキド 神 クト	***	#±±±====							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

「処 ス コ フ ト

	<u>投</u>	人し人り	` • ,	人 負】				
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和 2年度 決算	令和 3年度 決算	令和 4年度 決算	令和 5年度 予算
1	ーち	7ルコスト	千円	73,611	78,907	54, 972	38, 239	37, 580
	事	業費	千円	62, 295	65,707	42,001	24, 920	17, 370
		<b>国庫支出金</b>	千円	3, 225	2,077	1,810	1,647	2,500
		特 県支出金	千円					
		特定 地方債 受益者負担	千円					
		^別 受益者負担	千円					
		**** その他	千円	2, 651	5, 784	6,669	7,080	7, 260
		一般財源	千円	56, 419	57,846	33, 522	16, 193	7,610
	人	牛費合計	千円	11,316	13, 200	12, 971	13, 319	20, 210
		正規職員	千円	8,316	8,316	8, 316	8,316	15, 120
		人員	人	1.1	1.1	1.1	1.1	2.0
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		人員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		会計年度(3類)職員	千円		1,884	1,655	2,003	2,090
		その他職員	千円					
Į,	_ く	7ルコストの増減	維持理は	1				

トータルコストの増減維持埋由

# 【事業の評価】

[目的妥当性評価] 1.事業の目的、内容、方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか

一次評価 B なっている

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3.事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】							
評価	В							

令	和 5年原	艾	事務事業評価表	(令和4年度	を継	統	事務事	·業)					
事	事務事業名	各	経営支援対策事業										
	担当所属		農政課						連	格先		34-3222	
	関連所属	•	<u>++</u> _ <u>1</u> _k± +⊓¶										
			基本情報】										1
分野	, 施策		経済・産業 4 持続可能な農業経営基	般の砕立									
	·施來 分野		4	盤の唯立	子	.   [	力車業名	<b>【</b> 経営支援対策対策事	举書				
松合	基本施策	6 –		盤の確立			丁子禾L	性白又以びいかいかっ	木只				
計			79770 5100 5 100 100 100 100 100 100 100 100		▮ 事	Į –							
画					業				w				
事業	期間		~	会計種別	<u> </u>	般会	計		事業	種別		政策的事	事務
	法令要綱												
	区分			施設種別	_				予算	要求区	公分	経常経費	
	事業 概	要	・指標】										
	概要						対象技	旨標					
有			ととなる。		り農	業者							
の経 <b>内容</b>		退を	防ぎ安定的な経営を支援する	るもの			2						
1	倒木撤去						」 活動技	5/200					
	倒木により	破損	した鳥獣防護柵を補修する	ため、作業の支障	とな	る信	り	日信					
			所を補修できるよう整え、  :う安全を確保するもの	り きゅうしゅう かいこう かいこう かいこう かいき かいしょう かいまい しゅうしょう かいしょう かいまい かいまい しゅう	ひ維	打官							
2	原材料費			必再から社会	<b>≠</b> ±	<b>«</b> Д-	_ 2						
る	もの		した防護柵を補修するため、 	、必安は原州科貝	を又	ボロ 9							
3	松本広域馬県、市村、	島獣被 (AL)	ア害防止総合対策協議会 猟友会等で構成される協議会	<b>÷の運営と活動に</b> 対	╅し₤	1000	3	K.L.					
を	行い、捕獲	<b>無</b>	材の購入や緩衝帯整備事業	などの鳥獣害対策	を支	援	成果排	<b>省標</b>					
	もの 農作物食害	≅R≒ı⊦	-重業				1 1	獣害による農作物被害	金額				
	野生鳥獣が	١6,	農作物を守るため2戸以上の	の農家で組織する	団体	\ [	2 4						
5	収入保険加	文人口											
			『物の価格低下など、農業者の 『る収入保険への加入を支援』					14.15					
			る収入保険への加入を文援 :補助するもの	9 句にめ、辰未白。	ハ又	<i>1</i> 4.	効率排	旨標					
6	松本波田道	路関	]係地区農業生産振興事業	+ M	,,,,	, ,							
			(中部縦貫自動車道) 建設工 新村、波田) の要望に対し										
め	、補助する	らもの	)。	で成来派兵と定と	9 0	, _	2						
	事業期間】		計和3年度から令和7年度 計の日地(産地)を制作する	 									
	【補助対象】 【補助率】		設用地(残地)を耕作する      業費の1/3以内(上限20										
•	1113-73 1 2	,		( ) ( )									
	<b>.</b>	, ,											
	今後の方												
	ア評価(ア			** <b>#</b> ###	/ <del></del>		10We±				<u> </u>	<b>* * * * * * * * * *</b>	
	の実施方向		継続  物への被害防止や自然災害	前年度の			■継続	シンキ.様クか取組みで	で無業		<b>分位</b>	<u>後の見込み</u> コスト	
			ら必要があります。		U J I/HJ	/L.	SC( / E	文 こ 0 小水 く で 4人が正の へ	· IXX		<u> </u>	削減 維持	
											上昇	TESWIT THE S	
											維持	0	
— <i>\h</i>	<del>7</del> =π/π <i>()</i>	N 477:	= <b>u/</b> ±\							1	縮小		
<u>—i)</u>	次評価(夕	小計	<u> </u>										
1)	内容評価												
主観	的な評価が		れませんが、経営支援対策										
にな ぇば	らないよう . 農業参り	に遅	とけているのかもしれませんだ こク軽減事業なのかもしれまっ	が、内容的にはリ せんが、名称は再	スク 検討	軽源する	或や補填と る余地がね	となっています。広郭 ちると感じました。	憲に言	\	\		
2)	指標の設定	2							N				
			までのロジックモデルを想 〕であれば、防止事業の実						状害に				
3)	今後の方向	性							n = -				
			に特有のリスクであり、気ん そのため他方では、廃校やJ										
討く	ださい。そ		であれば、ほとんど影響は										
ます	0												

<b>1</b> 1日 小小	<u> </u>	J圧 721							
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
<b>刈水扣</b> 标	2								
活動指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
	1	千円	16, 733	16,825	23, 727	17,000	17, 114	H28	139%
成果指標	2	戸		69	123	249	600	R9	21%
	3								
効率指標	1						·		#DIV/0!
	2								#DIV/0!
エチャドー	4	#±±±==================================							

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

<u></u>	え	<u> </u>	人 貝】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
<u> -</u>	タルコスト	千円	9,850		9,046		15, 937		22,073		32,956
事	業費	千円	2, 290		1,486		7, 621		13, 757		24,640
	<b>国庫支出金</b>	千円									
	特 県支出金	千円									
	特 県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	<b>短益者負担</b>	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	2, 290		1,486		7, 621		13, 757		24,640
人	件費合計	千円	7,560		7,560		8, 316		8, 316		8,316
	正規職員	千円	7,560		7,560		8,316		8,316		8,316
	人員	人	1.0		1.0		1.1		1.1		1.1
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
	人員	人									
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

収入保険への新規加入者の増が見込めるため

# 【事業の評価】

T 2 // */	μ,	Part   4			
[目的妥当性評	[価]	1. 事業の目的、	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	В	なっている			

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	:合評価】		
評価	В		

市和 5年	支	事務事業	<b>三</b> 計仙衣	(予和 4年	反	<b>征</b> 的	中的	i手	<del>·未</del> <i>)</i>				
事務事業	名		)まち推進事	業									
担当所属 関連所属	7	商工課							連	格先		34-31	10
		基本情	報】										
<del>【                                    </del>		経済・産業	†IX <b>1</b>										
基本施策	6 –		を活かした新	産業の創出									
総     分野       合     基本施策       計		経済・産業	を活かした新	・	_	予	中事業	名	クラフトのまち推進事業費				
計	0 -	O地球行江	で泊りした利	生未り削山		算事							
画						業							
事業期間		R3 ^	<u> </u>	会計種別	-	一般	会計		事美	種別		政策的	り事務
根拠法令要綱									<b>1</b> —1				
地域区分	785	12 抽	1	施設種別					予算	要求	区分	政策的経	費
【事 業 概 ^{事業概要}	安	・指標	<u> </u>				14:	免	指標				
<del>事来</del> 派女 <u>趣旨・目的</u>								Т	日1示				
を活かし、作家	えたち	が制作・発表	・交流できる	全国に知られる 機会を整えるこ	とで	作家	の						
移住を促すとと る誘客を図るも		、年間を通じ	てクラフトに	出会えるまちと	して	さら			七十二				
	-							Т	指標 	Je da	N/4		
<u>内容</u> 1 まちなかク (1) エサロ問			1. 公共市署)					)	クラフトフェアまつもとの <del>X</del> 	場者	数 ———		
	引の集	中PRイベント	•				(2						
	フーク	ショップ 7[	回 延べ70日										
出張展示 オンライン			クラフトツァ	— (R4中止)、			成	_	指標				
2 クラフトフ		-	<b>支援</b> 事業						松本の魅力に「民芸家具やク 割合	'ラフ	トの文	化」を挙	げる者の
				実績に基づき補助			(2						
							效	率	指標				
							C						
							6						
	<u></u>	L T											
【今後の方		=											
一次評価(F 今後の実施方向				前年度	の結	果					今往	後の見込∂	<b>y</b>
クラフトフェブ	の安	定的な継続開		ことで「クラフ	トの	まち			のブランド力を維持しつ				<u>,</u> くト
つ、作家にとっ ことで、移住・				クラフトファン	にと	って	の出会	( ) (	の機会を5月以外に設ける			削減維	持 増大
	םר נעם		(1) 00							成	上昇 維持		
										果	縮小		
二次評価(多	<b>补部</b>	評価)											
1)内容評価													
Ⅰ)内台評価 現状の取り組み	ょは、	継続的な内容	いようですか	、成果指標は大	幅に	向上	できる	余	地があります。クラフトの				
まちづくりのタ	マーケ	゙゚ット(≒ペル	/ソナ) を明確	置にし、AIDMA*や	カス	タマ	ージャ	—	ニーマップ*の各段階で現在				
									めて確認し、戦略·戦術の けしても同様です。外向けの				
ブランディング	ブだけ	でなく、内向	]けのブランテ	^デ ィング戦略等も	同時	に検	討くだ	さ	ر١ _°				
									広告-購買・消費行動の古典 タマージャーニーマップが				
									ませんのでご注意くださ				
2) 指標の設定													
				れていますが、† )は、例えば75%					であれば100%、お客様(≒				
3) 今後の方向	9性												
				E度アート(≒ク Bを描くことも必					)として評価をしましたの				
C ノ ノ ノ 下 以 ク	r_0,	注訳、ののい	ウ [5] ロトル井火川	ュュ声へここの必	女IJ,	<b>二万</b>	7. A. Y	0					

	٠,	J 正 リン A		2 2		2			1 \ <del>+</del> -1\ <del></del> -
		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
対象指標	1								
入了多门日/小示	2								
	1	人			27, 108	37,038	40,000	R7	68%
活動指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
		%		17	17	17	18	R7	94%
成果指標	2								#DIV/0!
	3								#DIV/0!
効率指標	1								#DIV/0!
	2								#DIV/0!
エチャド 挿 の・	414	#±±±==================================						•	

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

	役	<u>: 入 コ ス ト</u>	• .	人 員】								
		年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和	4年度 決算	令和	5年度 予算
1	一 /2	ヲルコスト	千円	9, 756		9,899		7,552		13, 116		13, 256
	事	業費	千円	9,000		9, 143		6, 796		12, 360		12,500
		₊₊ 国庫支出金	千円							4, 170		
		特 県支出金 地方債 財 受益者負担	千円									
		地方債	千円									
		源 受益者負担	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	9,000		9, 143		6, 796		8, 190		12,500
	人	件費合計	千円	756		756		756		756		756
		正規職員	千円	756		756		756		756		756
		人員	人	0.1		0.1		0.1		0.1		0.1
		会計年度(フル、1・2類)職員	千円	0		0		0		0		0
		人員	人									
		会計年度(3類)職員	千円									
		その他職員	千円									
L	/	フルコフトの増減	(世)土土田	1			·	·		·		

トータルコストの増減維持理由

### 【事業の評価】

F 1. NIZ AN HI	P=4 A	
[目的妥当性評価]	1. 事業の目的、内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか
一次評価 R	なっている	

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか 一次評価 B | 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		

T) 1	TI 5年ル	支	事務事業評	<b>個衣</b>	节和 4年段	· 称	<b>沉</b> 事	7分手	<del>፤</del> 兼 <i>)</i>					
事	<b>事務事業</b>		松本ヘルス・ラ	ラボ推進事	業									
	担当所属		商工課							連絡分	ŧ	34-:	3296	
「国	関連所属 基路 主		基本情報	1		—								
分野			・ 全 小 川 和 /  経済・産業	<u></u>										
	施策		- <u>作</u> の	かした新産業	美の創出									
総	分野	6	経済・産業			予	中事	業名	松本ヘルス・ラボ推	進事業費			=	
合計	基本施策	6 –	- 6 地域特性を活	かした新産業	美の創出	算事								
計画						事業								
	 期間		H26 ∼		会計種別		L 公会計			事業種	別	政急	策的事	終
	法令要綱		1120		API 12//3	140	<u> </u>			777	:733	***	NES-3	173
	区分				施設種別					予算要	求区分	政策的	<b> 経費</b>	
【事	事業 概	要	・指標】											
事業	概要							対象	指標					
	<u>・目的</u> ★ ^ !!.フ .	=-	ニューニュー		クの仕方を図り		_	1						
			ドの会員規模の拡大 ス開発に関わる企業			ハル	ノス	2						
内容	,						ļ		IVIX					
松	本ヘルス・		ドによる製品・サー				ノ、	活動	指標					
	外企業や学 業創出を推		機関との連携を積極 する。	的に支援し、	社会実装に繋が	バる新	斤た	1	松本ヘルス・ラボ会員	員数 				
			事業・実用化検証助					2	企業訪問数					
• ;	モニタリン新規利活用	ング事 用企業	事業5件、実用化検証 業獲得のため、展示	証助成事業4件		動紹介	<b>,</b>	3						
(2)	会員向けた	ナービ	ごス					成果	指標					
• :	松本ヘルノ 有料サーヒ	く・ラ ベスと	ラボアプリを活用し こして健康チェック	、電士PI思々 ハ(年2回(体	ぶとナンタル16で :カテスト、血液	と推理 7検査	ᄩ		<del>************************************</del>	===・	助成事業	≠宝施	- (生. )	
:	栄養検査、	身体	本測定ほか))、健	健康増進プログ	グラム(月1回程	渡(			エーメリノノ事本 :	天川小小八四	.以水子木	一一一	/T女X ————	
	ラジオ体持	Ř, ∃	∃ガ、リズム体操、	エクサイサイ	イズほか))を男	<b>美施</b>		2	学会・論文発表件数					
							Ī	3						
							ļ	効率	指標					
								1						
							ļ	2						
[4	今後の方	向性	生】											
			評価)											
	の実施方向			=======================================	前年度の紹			迷続			今	後の見込		
いひ	れまでの <del>を</del>	€負堤 ベー <i>径</i>	書大の手法は、各樓 ┗ダ± モニタリング	!モニタリング 『車業を宝施で	ブ事業を実施する オスニとで新規2	るたひ 今号を	がに健 ⇔雑復	康恵	識の高い方を会員とし 方法を踏襲しつつ、新	して取			コスト	
商品	モニタード	シアン	フ1g 0 L _ フラファ ノケート調査など、	手軽に参加で	できるモニタリ:	ェス・ ング事	事業を	増や	ガ伝を顕義しつう、。 すことで成果を高める	ます。 🗖	上昇	月J)/X	維持	<b>塩人</b>
また	、ラボアフ	プリを	を活用するため、他	のヘルスケア					換等のサービスを拡充	充し、   月	火 <del>4#+±</del>		$\rightarrow$	
			アプローチを図りま	. <b>व</b> 。						7	果   維持  縮小			
二次	ア評価(ダ	小部	評価)											
	L ====================================													
	内容評価 獲得の日標	=値に	+====+ 50%弱の達೯	む座ですが、	コロナ等の影響	別分外	.t= <b>‡</b> ,4	<b>半</b> 本()	の獲得方法(設定した	- A_ \				
ゲッ	ト層)に阻	艮界カ	があるかもしれませ	けん。内部評価	西でも改善策が <b>扱</b>	提案さ	されて	いま	すが、昨年度も提案し	したよ				
うな!	特定健診と	この連	重携や企業の健康経	Z営支援の新事	事業との連動、流	法人以	以外に	学生	会員制度などターゲ	ットを				
2)	指標の設定	Ē							仕組みもご検討くだる					
本事	業は商工語 業のゴール	果の担 レと考	旦当ですが、ビジネ 考えます。これら観						の増加、医療費削減な ください。	などが 📙	$\top$			
	今後の方向 11)2)に		哉のとおり、事業歴	∄始から10年 <i>†</i>	が経過する中で;	- h.≢	≠でσ	*	を踏まえて、次のス	テージ				
ヘと	発展させる	ること	こ(特にターゲット	層の拡大)を	を検討ください。	。例え	えば、	本市	は大学が多く、県外は	出身者				
も多	いですが、	食事 +虫+	事や日常の健康状態	チェックなと	ごは本人任せでで	す。字 ・マォ	生会	) 注知	有料サービス等の一部	部を無				
									みなどが考えられま ^っ が将来の関係人口とし					
リン									発展を検討頂ければ					
す。														

		単位	R 2年度実績	R 3年度実績	R 4年度実績	R 5年度見込	目標値	目標年度	達成度
112161	1	1 12	= 1 225002	11 0 1 12C C 13C	11 1 1225 0450	5   12352		13.12	Ziniz
対象指標	2								
	1	人	1,300	2,000	4,900	5,500	10,000	R7	49%
活動指標	2	件	65	152	178	170	180	R7	99%
	3								#DIV/0!
	1	件/延べ	63	73	82	91	85	R7	96%
成果指標	2	件/延べ	16	18	19	20	22	R7	86%
	3								#DIV/0!
効率指標	1						·		#DIV/0!
メルギョ ロー・ス・メント・エー・ス・メート・エー・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	2								#DIV/0!

活動指標の増減維持理由

成果指標の増減維持理由

【投入コスト・人員】

<u>【扮</u>	<u> </u>	• ,	人員】								
	年 度	単位	平成31年度 決算	令和	2年度 決算	令和	3年度 決算	令和 4:	年度 決算	令和	5年度 予算
<u>                                     </u>	タルコスト	千円	100, 221		89,485		67,019		69,642		70,800
事	業費	千円	41,301		38, 125		30, 779		33, 402		34, 560
	<b>」</b> 国庫支出金	千円									
	特県支出金 地方債 受益者負担	千円									
	地方債	千円									
	^別 受益者負担	千円									
	***` その他	千円									
	一般財源	千円	41,301		38, 125		30,779		33, 402		34,560
人	件費合計	千円	58,920		51,360		36, 240		36, 240		36, 240
	正規職員	千円	52,920		45,360		30, 240		30, 240		30, 240
	人員	人	7.0		6.0		4.0		4.0		4.0
	会計年度(フル、1・2類)職員	千円	6,000		6,000		6,000		6,000		6,000
	人員	人	2.0		2.0		2. 0		2.0		2.0
	会計年度(3類)職員	千円									
	その他職員	千円									

トータルコストの増減維持理由

令和2年度をもって世界健康首都会議終了及び松本地域健康産業推進協議会解散

#### 【事業の評価】

F 1. > 1	ъ,	Part   1			
[目的妥当性評	平価]	1. 事業の目的、	内容、	方向性等が市の目指す姿を実現するためのものになっているか	
一次評価	В	なっている			

[有効性評価] 2. 事業内容や方向性が想定する成果や期待する効果に結びつくものになっているか

一次評価 B 想定する成果や効果に結びつくものになっている

[効率性評価] 3. 事業コストや人的コストが適正なものになっているか

【総	合評価】		
評価	В		